

2006年10月6日～9日の
発達した低気圧による災害に関するアンケート調査
報告書

2007年10月

気象庁札幌管区气象台・北海道開発局・北海道

・岩手県立大学総合政策学部牛山研究室

目 次

1. 調査の目的	1
2. 災害の概要	2
2.1. 気象概況	2
2.2. 降水量分布および過去の豪雨との比較	3
2.3. 被害状況	4
3. 調査手法	6
4. 調査結果	11
4.1. 回答者の性別・年代構成	11
4.2. 居住地の水害リスクに対する認識	12
4.3. 今回の被災の有無と当時の所在場所	13
4.4. 家財保全行動の実施状況	14
4.5. 警報に対する認知	15
4.6. 避難勧告に対する認知	16
4.7. リアルタイム雨量・水位情報に対する認知と利用	18
4.8. リアルタイム雨量・水位情報の利用意向	19
4.9. 避難勧告に対する認識	19
4.10. 避難の状況	21
4.11. 避難の際の移動手段	22
4.12. 避難先	22
4.13. 避難のタイミング	23
4.14. 避難実施・非実施の理由	24
4.15. 過去の豪雨災害に対する記憶	26
5. まとめ	28

1. 調査の目的

2006年10月6日から9日にかけて、発達した低気圧が本州東方沖、北海道東方沖を通過し、東北地方太平洋側、北海道東部などに豪雨と強風をもたらし、全国のAMeDAS観測所(統計期間20年以上)では、10月6日から8日の間に1時間降水量の1979年以降最大値を更新した観測所は0ヶ所、24時間降水量15ヶ所、48時間降水量30ヶ所など、長時間の降水量を中心に広範囲で豪雨となった。この豪雨による被害は、東北6県および北海道で、死者1名、住家の全壊0棟、半壊13棟、一部損壊1,084棟、床上浸水272棟、床下浸水1,042棟などの被害を生じた。降水量の記録更新が多かった割には、被害が比較的少なく、特に人的被害があまり大きくならなかった。

近年、気象情報・防災情報を初めとしたソフト防災対策の重要性が高まりつつある。よりよい防災情報を整備していくためには、実際の災害時における情報の活用状況などについて、事例調査を通じた検証を行っていく必要がある。そこで、筆者らは、今回の災害における被災地を調査対象地として、以下の観点から、住民を対象とした調査票調査を行うこととした。

- ・ 豪雨災害に対するリスク認知の実態
- ・ 災害時の家財保全行動の実施状況
- ・ 警報やリアルタイム雨量・水位情報に対する認知とその利用
- ・ 避難勧告に対する認知や考え方
- ・ 避難の状況

本報告書では、2. でまず災害の概要について説明し、4. で主な集計結果について整理する。すべての設問の回答の詳細については、附属資料に集計表を掲げる。

なお、本報告書の2. は、牛山(投稿中)の一部に加筆し再掲したものである。

2. 災害の概要

2.1. 気象概況

2006年10月上旬前半の日本付近の気圧配置は、本州南岸沖に停滞前線(秋雨前線)があり、台風16号の接近にともなって10月4日頃から前線の活動が活発化した。10月6日、紀伊半島沖の停滞前線上に、台風とは別に低気圧が発生して急速に発達し、7日から8日にかけて更に発達しながら本州東方沖、北海道東方沖を通過し、東北地方の太平洋側、北海道東部などに豪雨と強風をもたらした。この結果10月上旬の降水量は、北海道・東北の太平洋側では、平年比415%に達した(気象庁、2006)。

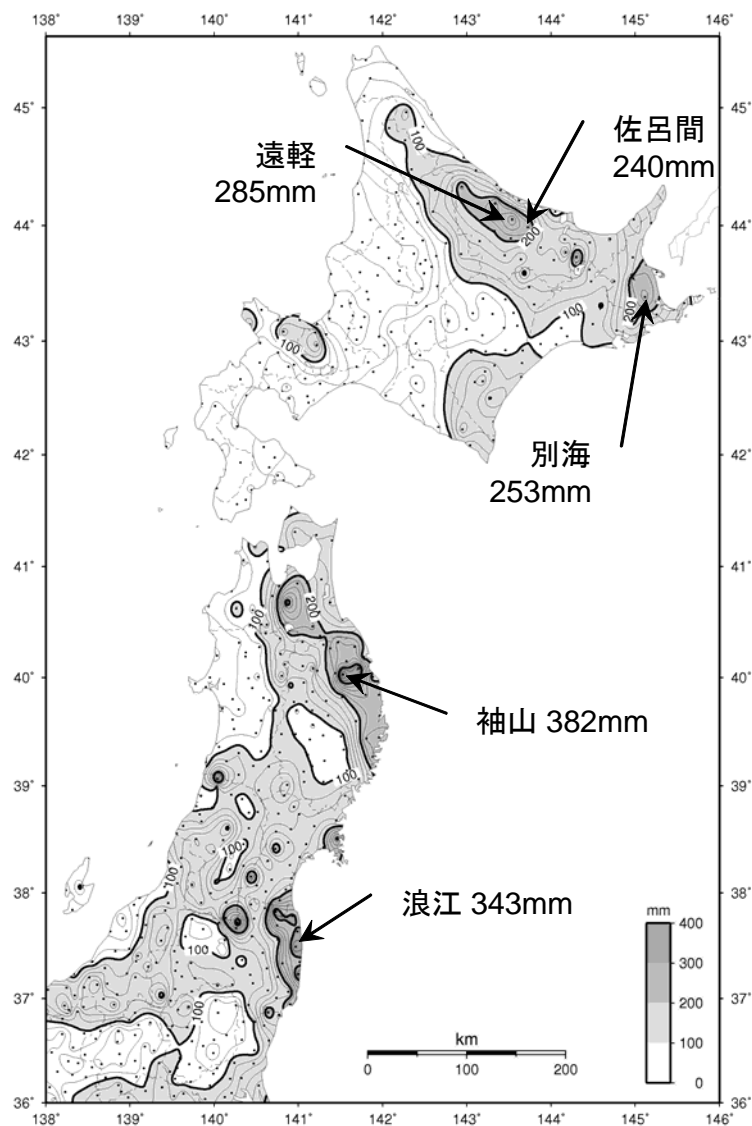


図1 2006年10月8日24時の72時間降水量分布
気象庁データのみを使用。点(・)は観測所位置。

2.2. 降水量分布および過去の豪雨との比較

気象庁 AMeDAS 観測所データから内挿して作成した 10 月 8 日 24 時の 72 降水量分布図(図 1)を示す。主な豪雨域は福島県太平洋岸，岩手県北部から青森県中央部，道東のオホーツク海側などで，これらの地域で 72 時間降水量が 200mm 以上の地域が広がっている。東北でもっとも降水量が多かったのは岩手県の袖山(岩手郡葛巻町)で 382mm，北海道では遠軽(紋別郡遠軽町)の 285mm が最大だった。

今回の豪雨では，降水継続時間が長めで，24 時間降水量，48 時間降水量などの長時間降水量が大きくなった。全国の AMeDAS 観測所のうち，統計期間 20 年以上の観測所を対象として集計したところ，10 月 6 日から 8 日の間に 1 時間降水量の 1979 年以降最大値更新観測所は 0 ヶ所，24 時間降水量が 15 ヶ所，48 時間降水量が 30 ヶ所だった。このうち，24 時間・48 時間ともに更新した観測所は 12 ヶ所だった(図 2)。筆者が同様な集計をはじめた 2002 年以降と比較すると，表 1 のようになる。今回の豪雨事例は，降水量の絶対値は，西日本などの豪雨と比較すると大きくはない。しかし東北，北海道地域としては大きな降水量が，近年の豪雨事例と匹敵する程度の広範囲で記録された。

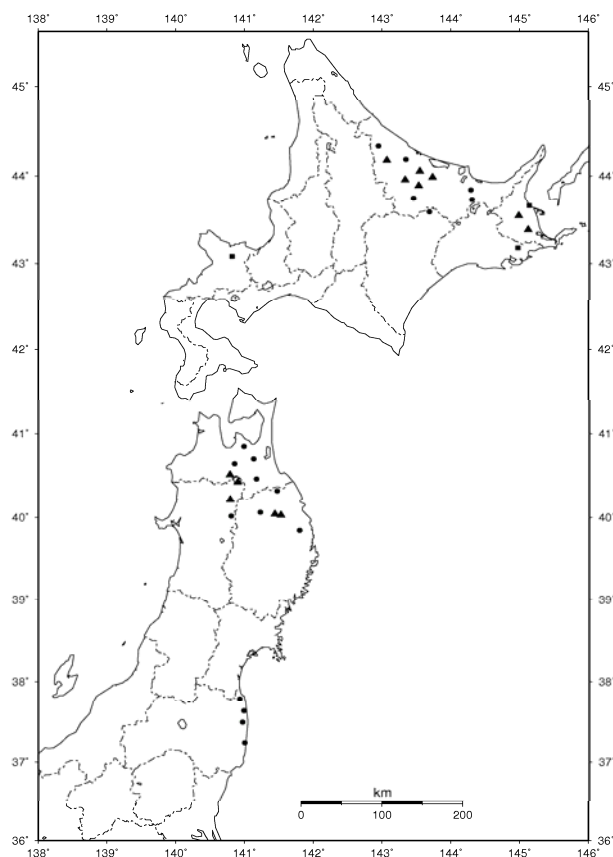


図 2 7 月 18～23 日に降水量最大値を更新した観測所

統計期間 1979 年～2006 年で，20 年以上の観測値が得られる観測所が対象。▲:24 時間降水量および 48 時間降水量最大値を更新，●:48 時間降水量最大値を更新，■:24 時間降水量最大値を更新，+ : 1 時間降水量最大値を更新。

表 1 1979 年以降最大値を更新した AMeDAS 観測所数(統計期間 20 年以上)

事例名	1 時間 降水量 (カ所)	24 時間 降水量 (カ所)	48 時間 降水量 (カ所)
2002 年台風 6 号	9	32	33
平成 16 年新潟・福島豪雨	3	10	8
2004 年台風 23 号	1	30	30
2005 年台風 14 号	0	56	64
平成 18 年 7 月豪雨	5	22	62
今回事例	0	15	30

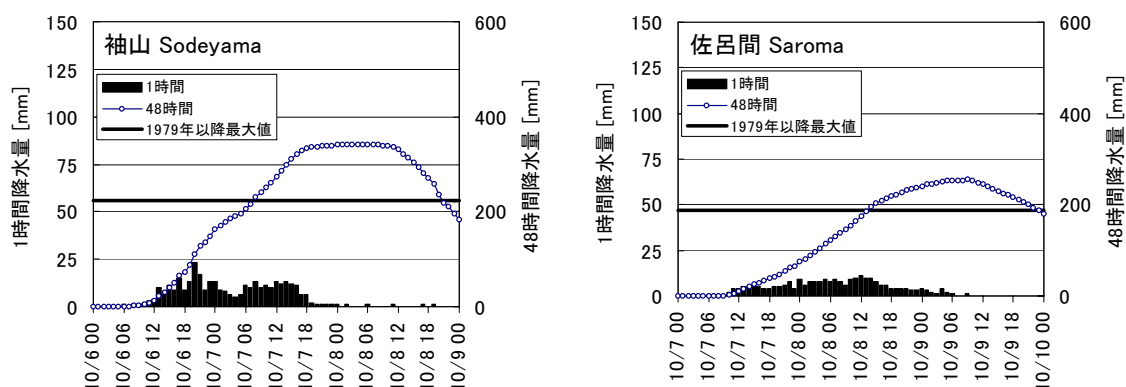


図 3 主要観測所の降水量

細線は 48 時間降水量，太線は 48 時間降水量の 1979 年以降最大値。

降水継続時間が長く，長時間の降水量が比較的大きかったのに対して，1 時間降水量はそれほど大きくなかったことも特徴的である。図 3 に，袖山と佐呂間(常呂郡佐呂間町)の降水量の推移を示すが，10 月 6 日から 8 日の最大 1 時間降水量は袖山が 23mm，佐呂間で 11mm に過ぎず，両観測所の 1979 年以降最大 1 時間降水量記録の 42mm，37mm にまったく及ばない。弱い雨が長い時間継続したことが今回の大きな特徴である。

2.3. 被害状況

近年の顕著災害時には，総務省消防庁による全国の被害状況に関する集計が，同庁 web で公開されることが一般的である。しかし，今回の災害ではこの集計が行われなかったため，東北，北海道の各道県庁 web を参照し，公表されている被害(北海道,2006;青森県,2006;岩手県,2006;宮城県,2006;山形県,2006;福島県,2006)を集計した。集計日時はそれぞれ異なるが，2006 年 12 月末現在で公表されている最新の値を用いた。なお，東北各県の内，秋田県は被害集計が公表されていなかった(報道で見る限りでは，被害が軽微だったと思われる)。

この低気圧による東北 6 県および北海道の被害は，死者 1 名，住家の全壊 0 棟，半壊 13 棟，一部損壊 1,084 棟，床上浸水 272 棟，床下浸水 1,042 棟などとなった(表 2)。また，豪雨そのものによる被害ではないが，この低気圧の通過に伴い海難事故が各地で発生し，10 月 6 日に茨城県

神栖市沖で貨物船の座礁により死者・行方不明者 10 名，同日宮城県女川町沖で漁船の転覆により同 16 名，10 月 8 日に静岡県下田市沖で遊漁船の転覆により同 7 名の人的被害が生じた。

家屋被害では，一部損壊が多くなっている。しかし，浸水被害が多かった岩手県葛巻町，北海道佐呂間町などでの聴き取りによると，浸水に伴う家屋の損壊はほとんど発生しておらず，浸水被害のほとんど発生していない市町村でも一部損壊が多く計上されていることから，主に強風による損壊と思われる。

浸水被害は床下，床上合わせて 1400 棟弱となったが，全国の浸水被害の合計が，1400 棟以上となった事例は，2000 年から 2004 年の 5 年間に限定しても 19 事例以上あり(国立天文台，2006)，それほど大きな被害とは言えない。気象庁の異常気象報告(各地方气象台等が災害事例毎に作成)をもとに集計すると，岩手県で床上浸水 90 棟以上の事例は 1971 年以降 16 事例みられる。北海道の被害は根室支庁管内(床上浸水 28 棟)，網走支庁管内(同 34)などが中心だが，たとえば網走支庁管内で床上浸水 30 棟以上は 1971 年以降 4 事例記録されている。広範囲で長時間降水量記録が更新されたが，被害についてはそれほど記録的なものにならなかったと言えそうである。

表 2 主な県別の被害

	死者・ 不明者 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 破損 (棟)	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)
北海道	0	0	4	562	72	256
青森県	0	0	0	2	50	160
岩手県	1	0	2	166	92	202
宮城県	0	0	7	347	54	412
山形県	0	0	0	0	0	0
福島県	0	0	0	7	4	12
6 道県の合計	1	0	13	1,084	272	1,042

各県公表の資料(北海道,2006;青森県,2006;岩手県,2006;宮城県,2006;山形県,2006;福島県,2006)による。岩手県の死者 1 名は岩手県の資料に含まれていないが，筆者の調査から明らかに今回の豪雨に伴う死者と判断されたので，本表に収録した。

3. 調査手法

調査対象地は、本災害において比較的被害が大きかった、北海道北見市(常呂町地区)、同佐呂間町、同別海町、岩手県葛巻町の4市町とした。調査対象地の主な被害状況を表3に示す。浸水の原因は厳密には分類できないが、佐呂間町、葛巻町はすべて河川の氾濫によるものであり、別海町は主に高潮によるものと推定される。北見市は主に河川の氾濫によるものと考えられるが、一部高潮の影響を受けている可能性がある。

これら4市町では、いずれも災害時に避難勧告が出されており、調査票は、避難勧告が出された町内会を対象として配布することとした。ここで町内会とは、市町村等からの広報等を配布する上で、各市町村が把握している最小の地域区分単位とする。避難勧告は、必ずしもここで言う町内会を単位として出されていない。北見市、佐呂間町、別海町については、避難勧告の対象とならない世帯も含めて、町内会内の全世帯に配布することとした。葛巻町については、各町内会の広報等配布担当者が、町内会のなかで、避難勧告対象となった世帯となっていない世帯を把握しているとのことであったので、避難勧告対象世帯のみに配布することとした(表4)。佐呂間町では配布数が避難勧告世帯数を下回っているが、これは福祉施設入所者を調査対象世帯からはずしたことや、2世帯同居世帯には1通のみ配布するなどしたためである。

調査票は、2006年12月下旬、各市町役場を通じて配布し、郵送回収した。回収は、2007年1月末日到着分までで〆切とし、全配布数3026通、回収数1084通、回収率35.8%であった。

表3 調査対象自治体の被害状況

	死者・ 不明者 (人)	全壊 (棟)	半壊 (棟)	一部 破損 (棟)	床上 浸水 (棟)	床下 浸水 (棟)
葛巻町	1	0	0	1	6	30
佐呂間町	0	0	0	0	11	63
北見市	0	0	0	9	0	21
別海町	0	0	0	52	15	31
合計	1	0	0	62	32	145

北海道(2006)、葛巻町(2006)による。

表4 調査対象自治体の避難勧告世帯数と調査票配布数

	避難 指示 (世帯)	避難 勧告 (世帯)	小計 (世帯)	調 査 票		
				配布数	回答数	回収率
葛巻町	0	358	358	358	173	48.3%
佐呂間町	0	839	839	687	274	39.9%
北見市(常呂町地区)	69	1179	1248	1624	488	30.0%
別海町	216	0	216	357	146	40.9%
合計	285	2436	2721	3026	1084	35.8%

避難勧告世帯数は、北海道(2006)、葛巻町(2006)による。回答数合計には、市町不明の回答3件を含む。避難勧告世帯数には、避難指示前後に避難勧告となった世帯数を含まない。

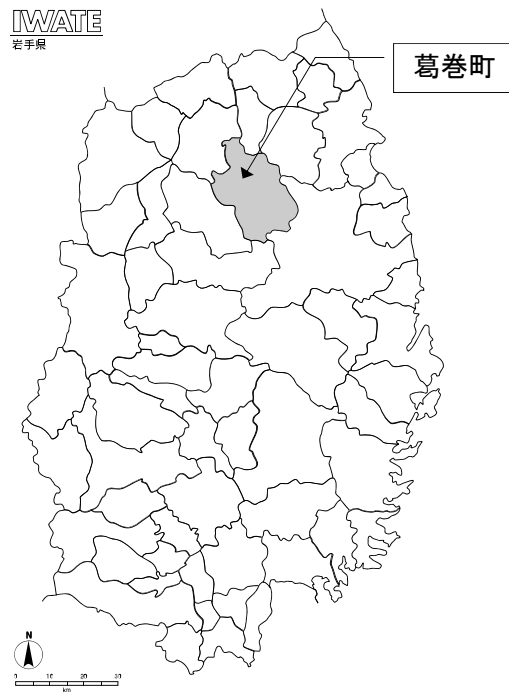
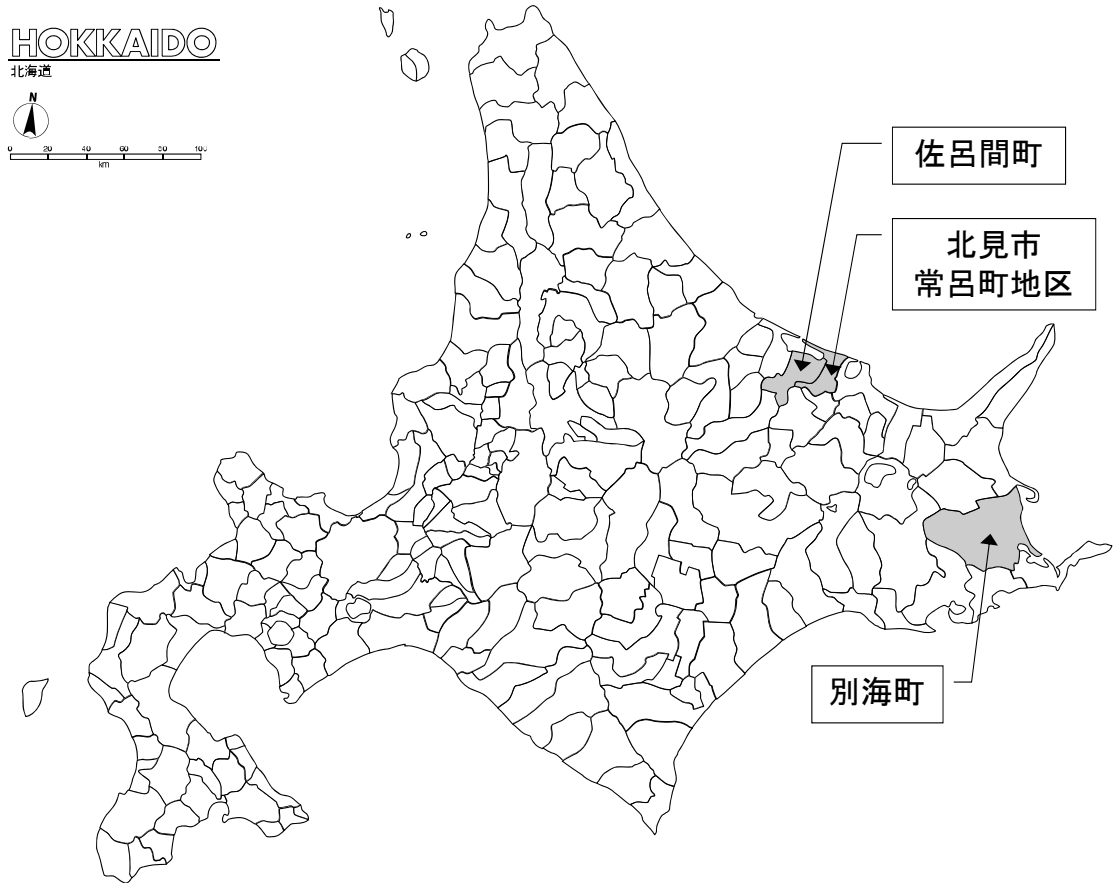


図 4 調査対象自治体位置略図

基図にはロイヤリティフリー地図素材 MAPIO JAPAN を使用

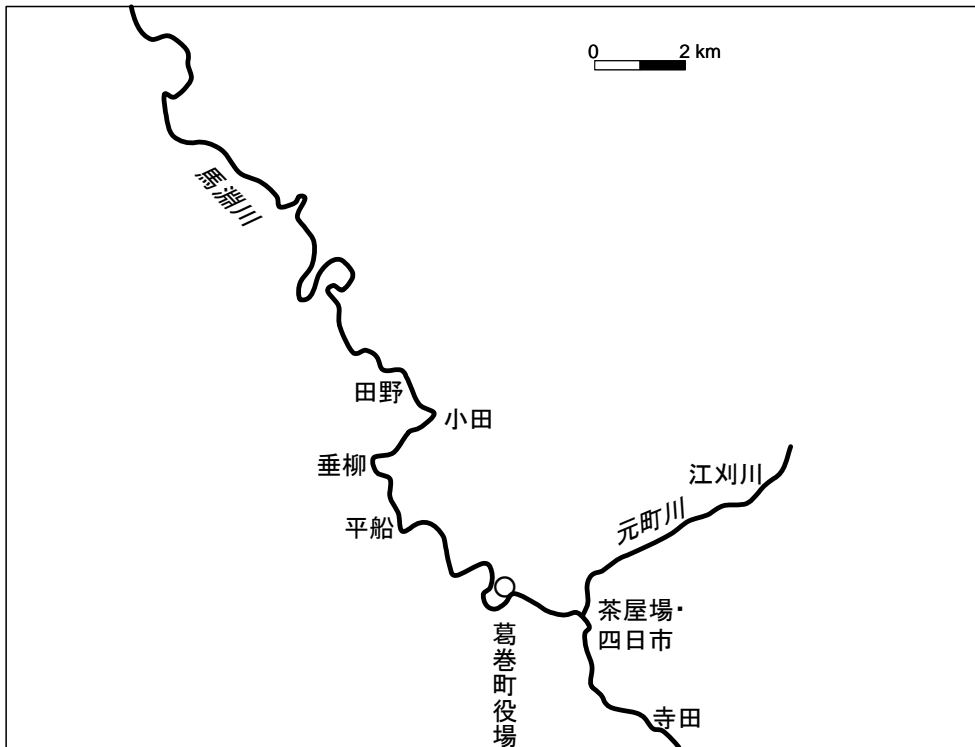


図 5 葛巻町調査対象地区位置図

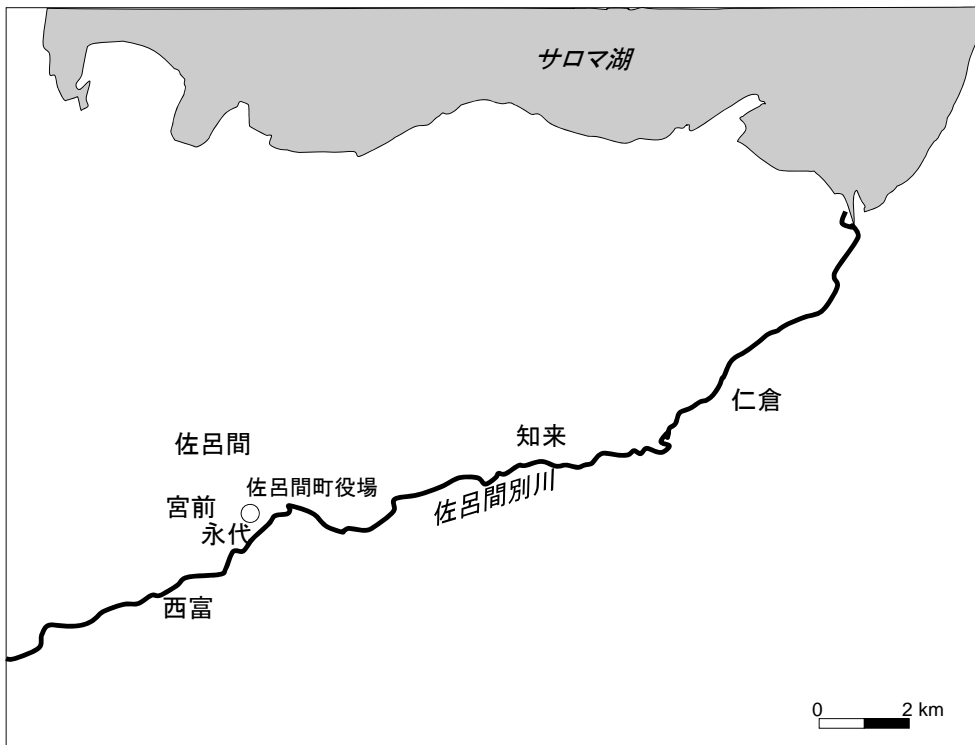


図 6 佐呂間町調査対象地区位置図

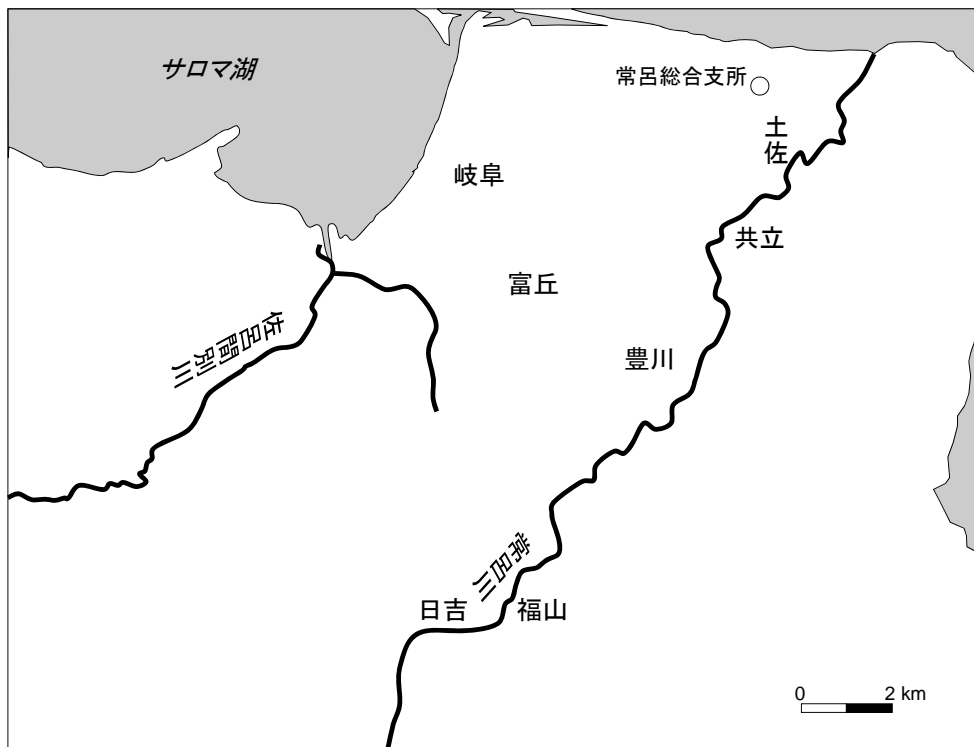


図 7 北見市(常呂町地区)調査対象地区位置図

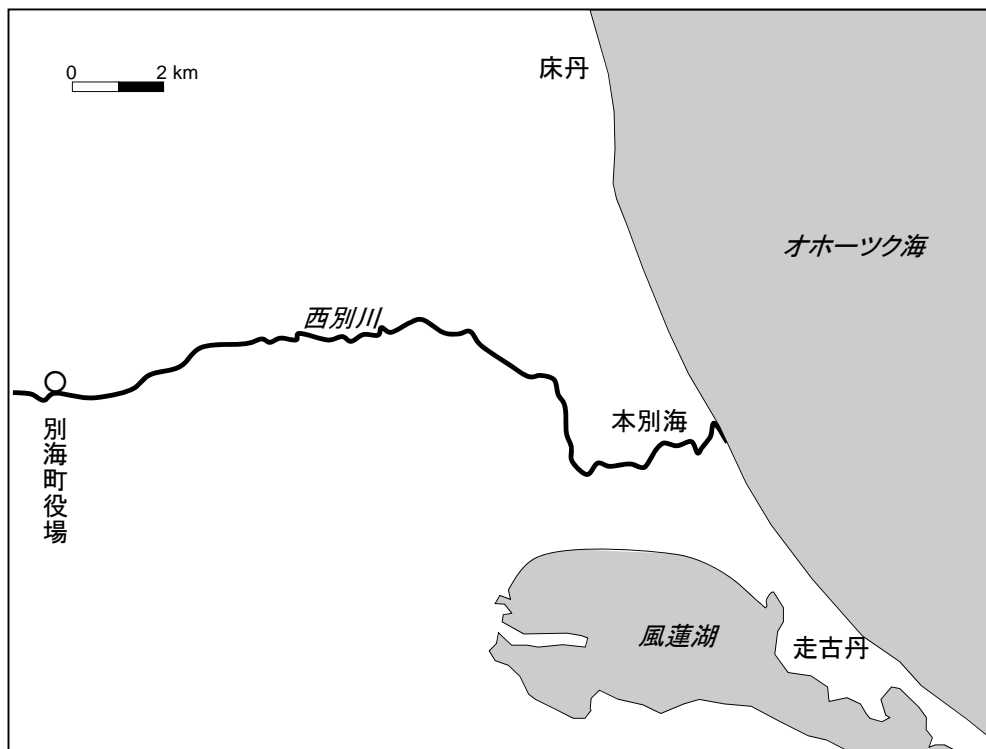


図 8 別海町調査対象地区位置図

表 5 調査対象自治体における警報・避難勧告等の発表状況

	葛巻町	北見市常呂町地区	佐呂間町	別海町
10/6 18:00				
10/6 19:00				
10/6 20:00	20:32 盛岡地方に、大雨・洪水警報発表			
10/6 21:00				
10/6 22:00				
10/6 23:00				
10/7 00:00				
10/7 01:00				
10/7 02:00				
10/7 03:00				
10/7 04:00				
10/7 05:00				
10/7 06:00				
10/7 07:00				
10/7 08:00				
10/7 09:00				
10/7 10:00				
10/7 11:00	11:00 避難勧告 江刈川、元町地区	11:15 網走西部に暴風、波浪警報。	11:15 網走西部に暴風、波浪警報。	11:10 根室地方全域に暴風、波浪警報。
10/7 12:00				
10/7 13:00				
10/7 14:00	14:00 避難勧告 今待地区			
10/7 15:00				
10/7 16:00	16:00 馬淵川・田子水位観測所、警戒水位超過 16:45 避難勧告 茶屋場四日市地区			
10/7 17:00				17:34 根室地方に大雨、洪水、暴風、波浪、高潮警報
10/7 18:00	18:15 避難勧告 平船～小田、田野地区	18:25 網走西部に大雨、洪水、暴風、波浪、高潮警報	18:25 網走西部に大雨、洪水、暴風、波浪、高潮警報	
10/7 19:00	19:00 馬淵川・田子水位観測所、ピーク水位(2.23m、堤防高は4.60m)			
10/7 20:00				
10/7 21:00	21:02 盛岡地方、大雨、洪水警報を注意報に切替。			
10/7 22:00				
10/7 23:00				
10/8 00:00				
10/8 01:00				
10/8 02:00				
10/8 03:00				3:16 避難指示 本別海、床丹地区
10/8 04:00				04時頃、花咲港(根室市)の潮位が本イベント中の最高潮位(天文潮位+80cm)を記録
10/8 05:00				5:40 避難指示 走古丹地区
10/8 06:00			6:00 佐呂間別川・永代観測所、警戒水位超過 6:30 避難勧告 西富宮前団地 6:40 避難勧告 特養老人ホーム、仁倉西地区。	
10/8 07:00				
10/8 08:00	8:10 全地区の避難勧告を解除	8:00 常呂川・上川沿観測所、警戒水位超過	8:30 避難勧告 西富、永代町、宮前町、東区、仁倉地区	
10/8 09:00				
10/8 10:00				
10/8 11:00			11:30 佐呂間別川・永代観測所、特別警戒水位超過	
10/8 12:00		12:45 避難指示 常呂町日吉、福山地区		
10/8 13:00				
10/8 14:00			14:30 避難勧告 知来地区	
10/8 15:00		15:50 避難勧告 常呂町常呂、土佐、共立、豊川、豊丘、岐阜地区		
10/8 16:00		16:00 常呂川・上川沿観測所、危険水位超過	16:00 佐呂間別川・永代観測所、危険水位超過	
10/8 17:00				17:06 根室地方、大雨警報解除、洪水警報を注意報に切替
10/8 18:00				
10/8 19:00				
10/8 20:00				
10/8 21:00				
10/8 22:00				
10/8 23:00				
10/9 00:00				
10/9 01:00				
10/9 02:00		02:00 常呂川・上川沿観測所、ピーク水位(8.41m)		
10/9 03:00				
10/9 04:00				
10/9 05:00				
10/9 06:00				
10/9 07:00				
10/9 08:00				
10/9 09:00				
10/9 10:00		10:51 網走西部、大雨警報を注意報に切り替え。洪水警報は継続。	10:51 網走西部、大雨警報を注意報に切り替え。洪水警報は継続。	
10/9 11:00				
10/9 12:00				
10/9 13:00				
10/9 14:00		14:00 常呂町地区の避難勧告、避難指示解除		
10/9 15:00				
10/9 16:00				
10/9 17:00				
10/9 18:00				
10/9 19:00				
10/9 20:00				
10/9 21:00				
10/9 22:00				
10/9 23:00				

4. 調査結果

4.1. 回答者の性別・年代構成

今回の調査では、回答者の性別、年齢属性の偏りを軽減するために、調査依頼状で「調査票は、ご家族のうち、調査票が到着した日から、最も誕生日に近い成人の方がお答えください」と回答者に依頼しているが、結果的には回答者の属性にやや偏りが生じている。

回答者および調査対象自治体全体(北見市は旧常呂町地区のみ)の性別構成を図 9 に示す。ここで、人口関係の資料は平成 17 年国勢調査による。本図に見るように、本調査の回答者は各自治体の人口構成と比較し、男性の割合が高くなっている。年代構成を図 10 に示す。回答者は各自治体の年代構成と比較すると、20 歳代が少なく、50 歳代が多くなっているが、いわゆる高齢者の比率は特に高くない。

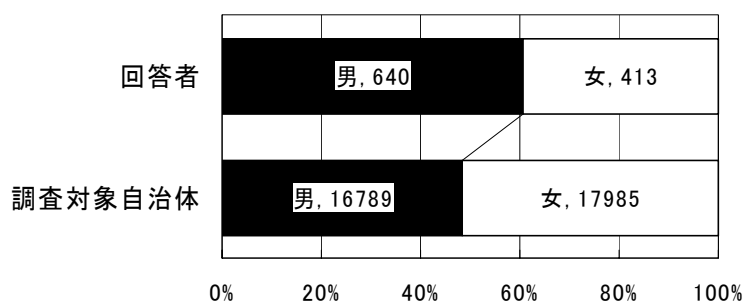


図 9 回答者および調査対象自治体における性別構成(数値は実数)

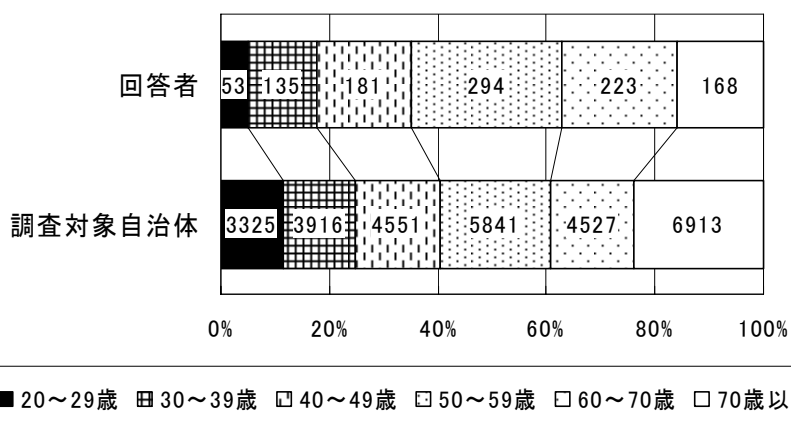


図 10 回答者および調査対象自治体における年代構成(数値は実数)

4.2. 居住地の水害リスクに対する認識

「今回の災害よりも前の時点で、ご自宅は大雨による浸水・洪水に対して安全だと思っていたか。危険だと思っていたか」に対する回答が、図 11 である。約 6 割が「安全」または「ある程度安全」であるが、世論調査などでは、同様な質問に対して 8 割以上が「安全」または「ある程度安全」と回答しており、河川近くの地区を調査対象としたことが反映されている可能性がある。また、回答傾向に、自治体による差はほとんど見られない。

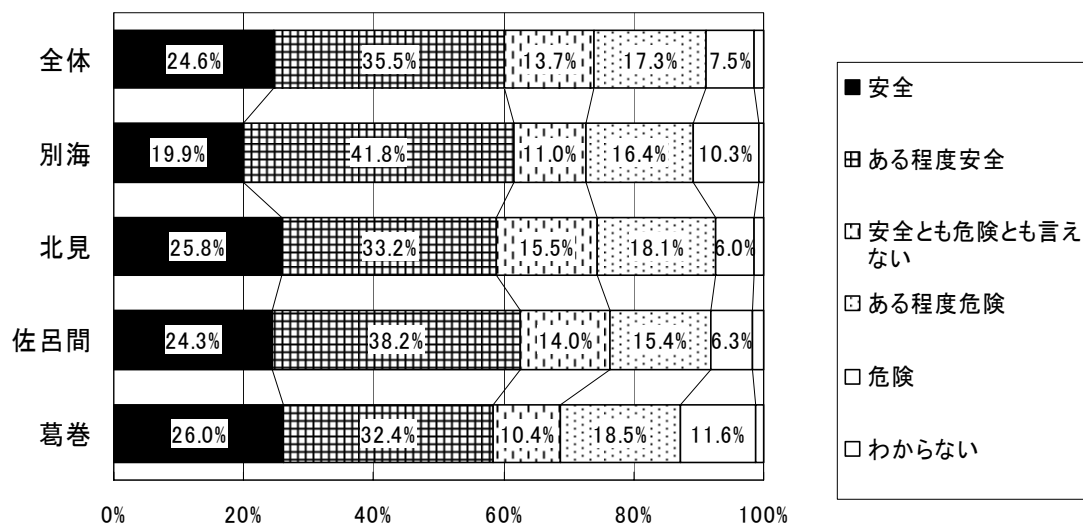


図 11 自宅の水害リスクに対する認識

4.3. 今回の被災の有無と当時の所在場所

今回の災害における、「自宅の浸水被害」について尋ねた結果が図 12 である。ほとんどは直接的な被害を受けていない回答者である。「床上まで浸水した」、「床下に浸水した」、「区別は分からないが浸水した」の合計回答数は 143 である。表 3 に示すように、被害統計上、これら 4 市町の床上、床下浸水の合計は 145 棟である。被害統計は集計方法によっても差が生じやすいので、厳密な議論はできないが、被害世帯の多くが回答を寄せた可能性は高そうである。

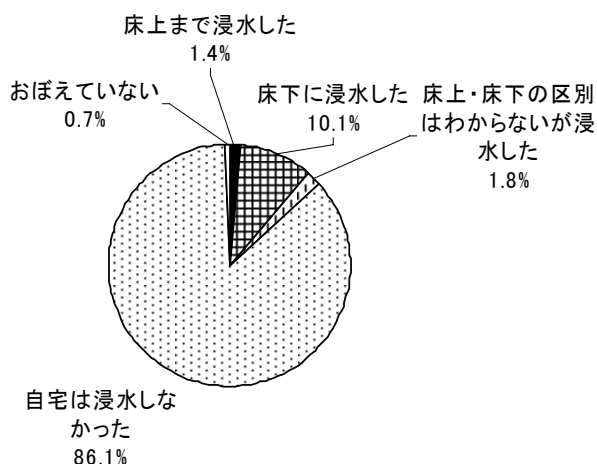


図 12 浸水被害の有無についての回答

今回の災害期間中に主にいた場所について尋ねた結果が図 13 である。回答者の 95.8%は災害当時、居住している市町村の近隣市町村の範囲内に居たと回答している。本調査では、災害時の状況に関わる設問は、所在場所について「自宅または自宅付近」、「住んでいる市町村または近隣の市町村の範囲内」とした回答者のみを対象とした。

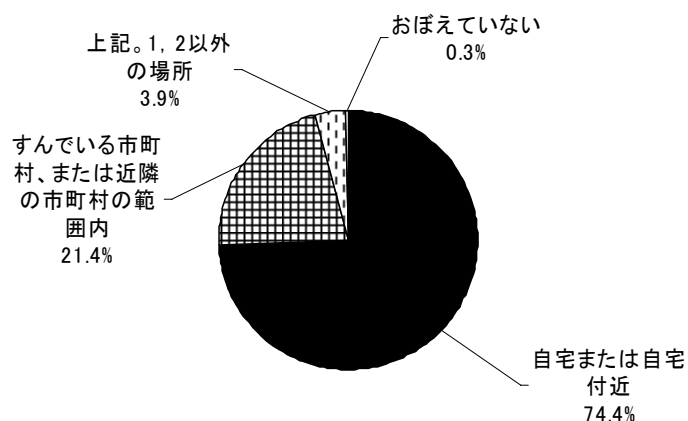


図 13 災害時(主に 10 月 7～8 日)の所在場所

4.4. 家財保全行動の実施状況

洪水災害等に備えての家財を保全する行動として、「自家用車の移動」、「畳上げ」、「布団や衣類の移動」、「テレビ、パソコンなどの家電製品の移動」、「貯金通帳など重要書類の持ち出し」の5項目を挙げ、それぞれの実施状況を尋ねた結果が図 14 である。最も実施率(成功率)が高かった「自家用車の移動」でも 38.6%と、過半数に満たない。しかし、「行うつもりだったができなかった」(失敗率)はいずれも 10%前後で、「行うつもりはなかった」もいずれも過半数となっている。すなわち、情報伝達・認知の遅れなどによって対応が遅れたというよりは、家財保全行動を必要とするような切迫した状況が、あまり発生していなかったものと思われる。

実施率の高かった「自家用車の移動」、「重要書類の持ち出し」について、市町村別の状況を見ると図 15 のようになる。いずれも、別海町で実施率が高くなっている。

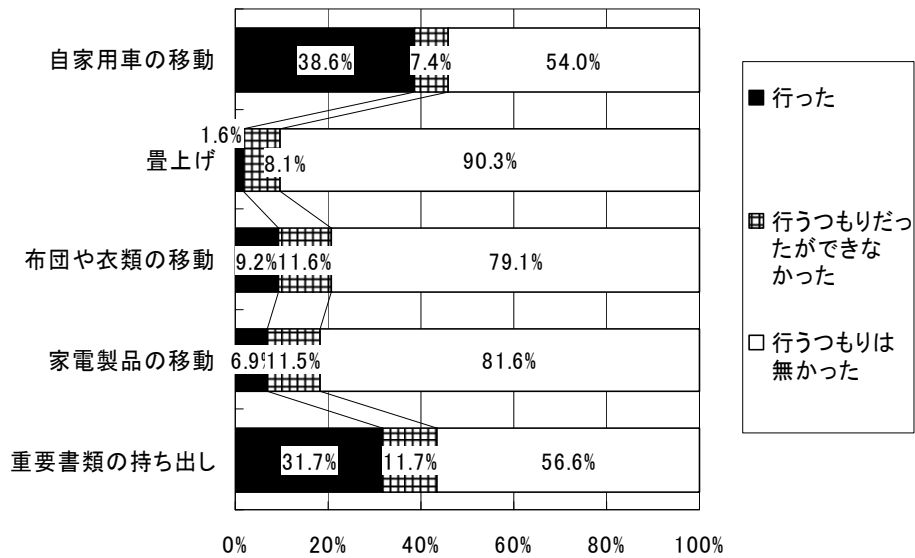


図 14 家財保全行動の実施状況

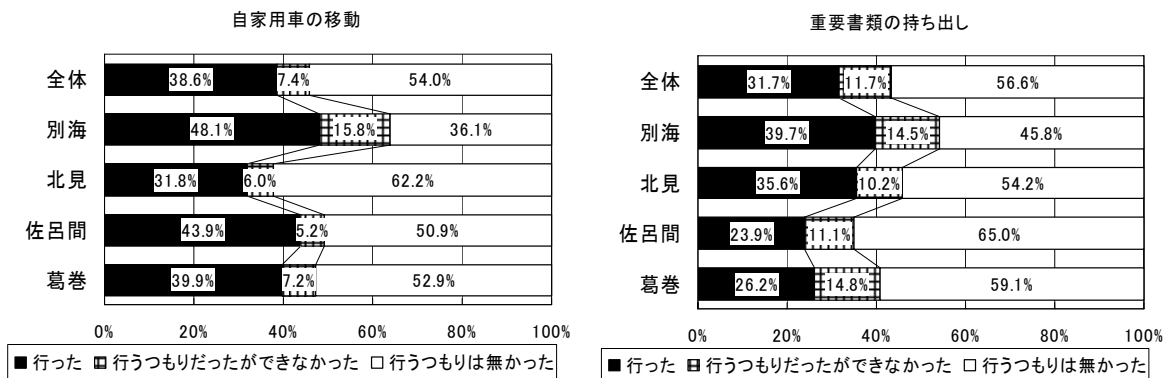


図 15 家財保全行動の実施状況(市町村別)

4.5. 警報に対する認知

本調査の対象地では、今回の災害期間中、全ての地区で大雨・洪水警報が発表されている。大雨・洪水警報が発表されていたことは、88.0%と(図 16)、大多数の回答者が認知しており、警報の伝達、認知自体には特に大きな問題はなかったものと思われる。

大雨・洪水警報が発表されたことを一番はじめに知った情報伝達手段として 11 種類を挙げ、1つを選択(複数回答ではない)してもらった結果が図 17 である。テレビを挙げる回答者が最も多いが、過半数には達しておらず、消防団員、広報車など、人を介して伝えられたとする回答者も少なくない。

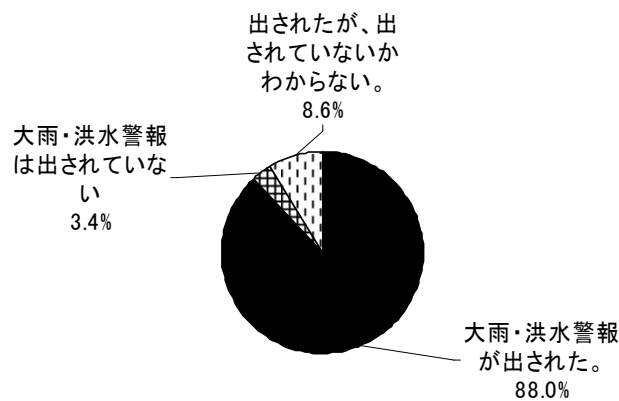


図 16 大雨・洪水警報が発表されたことについての認知

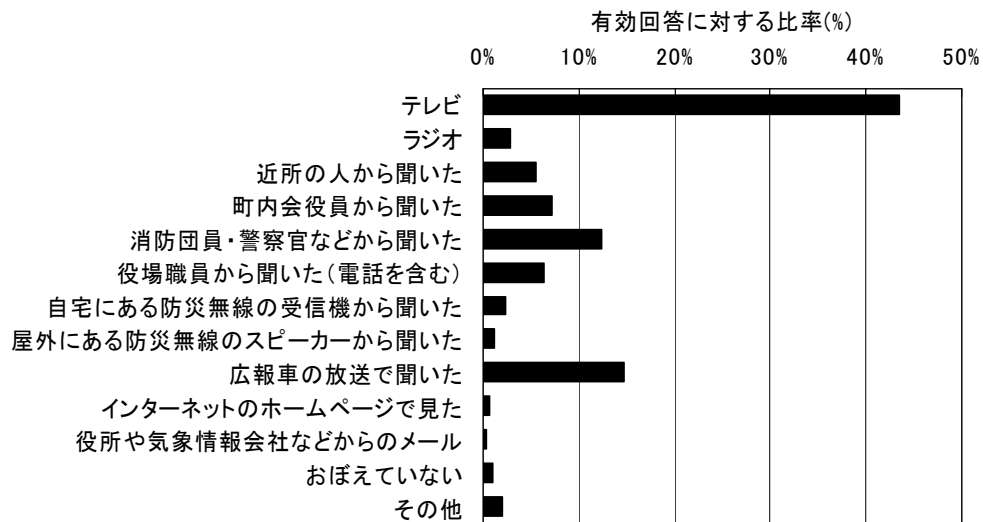


図 17 大雨・洪水警報の発表を最初に知った伝達手段

4.6. 避難勧告に対する認知

「ご自宅のある地区には避難勧告などが出されましたか」と尋ねた結果が図 18 である。今回の調査対象が、避難勧告対象世帯に完全に絞り切れていない事を考慮すると、避難勧告・避難指示の対象世帯のほとんどでは、避難勧告・避難指示が出されていることを認知していたものと考えられる。調査対象地区においては、「避難勧告が伝達されなかった」という問題は、ほとんど発生していなかったものと思われる。

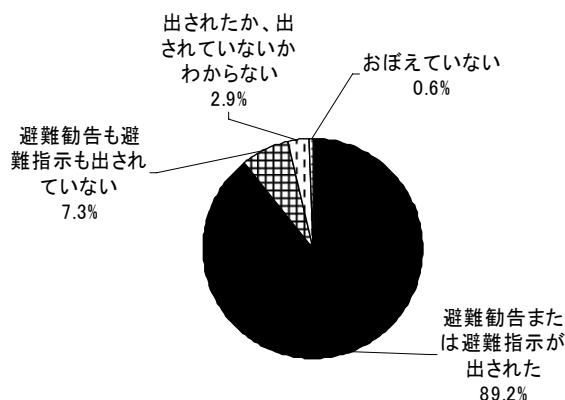


図 18 避難勧告・指示が出されたことについての認知

警報と同様に、避難勧告・指示が出されたことを最初に知った情報伝達手段を挙げてもらった回答が図 19 である。この設問でも、選択肢を 11 挙げ、回答は一つとしている(複数回答ではない)。この回答では、警報と異なり、テレビを挙げる回答者の比率は低くなっている。

この回答については、自治体により結果が大きく異なった(図 20)。葛巻町では「消防団員・警察官」の回答が目立ち(同町の全回答の 46.4%)、2 位は「広報車」(15.9%)だった。佐呂間町では「広報車」が 1 位(41.7%)、「役場職員」が 2 位(27.1%)だった。北見市ではやや回答が分かれ、「広報車」が 30.4%、「町内会役員」が 19.2%だった。北見市では「テレビ」を挙げる回答者が 4 市町の中では最も多く、16.7%だった。別海町も回答が分かれており、「消防団員・警察官」が 29.9%、「防災無線」が 20.6%などだった。

特に佐呂間町、北見市では、広報車が有効に機能したことがうかがえる。これは、見方を変えれば、広報車が走行しうる道路状況が確保されていたということでもある。今回の葛巻町、佐呂間町、北見市のように、比較的早期に避難勧告が出された場合には、広報車も有効に機能する事が期待されることが示唆されたが、避難勧告のタイミングが遅れた場合、広報車が勧告対象地域まで走行できない状況となる可能性もあることにも注意が必要である。

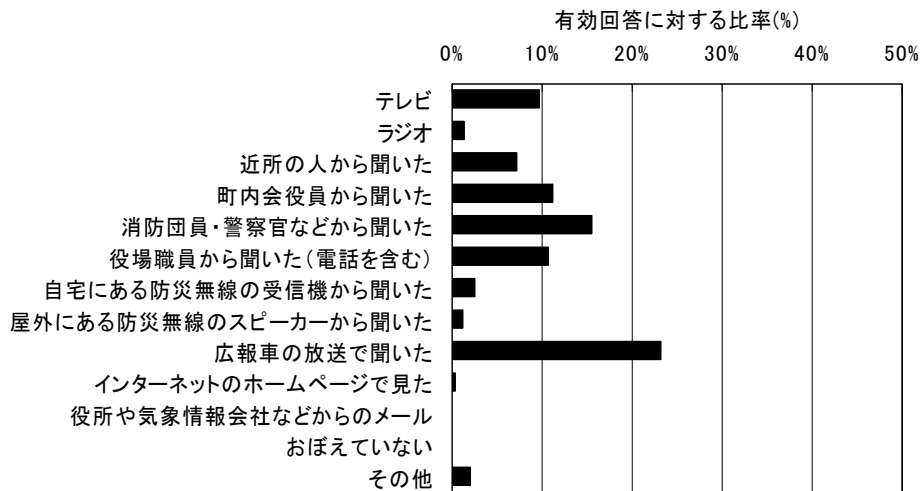
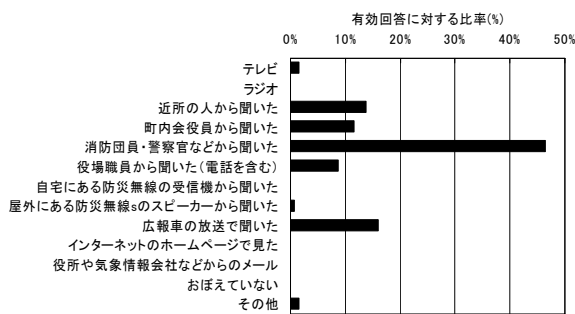
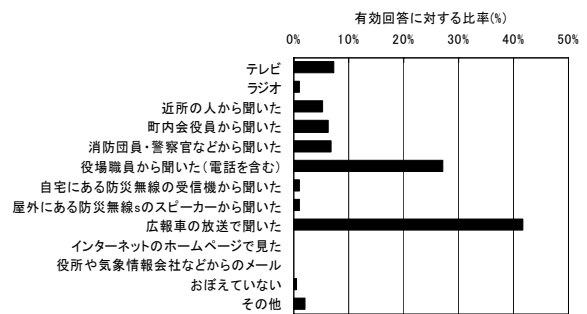


図 19 避難勧告・指示を最初に知った伝達手段

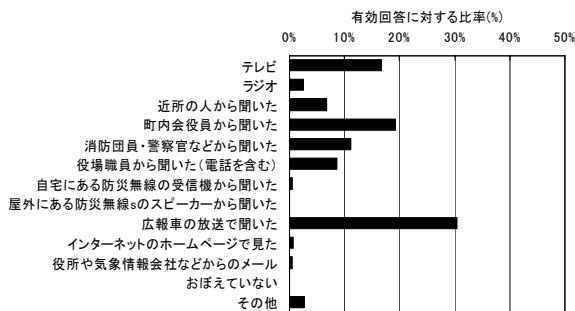
葛巻町



佐呂間町



北見市常呂町地区



別海町

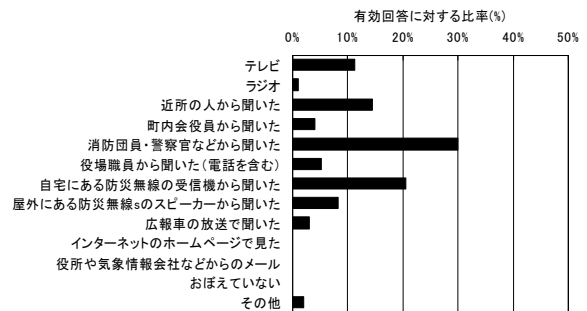


図 20 避難勧告・指示を最初に知った伝達手段(市町村別)

4.7. リアルタイム雨量・水位情報に対する認知と利用

「全国各地の現在の雨量(水位)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今回の災害時にこれらの情報を見ましたか」と質問した結果が図 21 である。雨量, 水位共に全体の 20% 程度の回答者がインターネット, 携帯電話のいずれかから参照している。一方, 「見ることができることは知っていたが, 見なかった」の回答が雨量の場合 32.9%, 水位では 32.4%あり, 何らかの手段で参照したとする回答者よりむしろ多い。リアルタイム情報については, 情報の存在を周知することも重要であるが, 周知しても全員が利用するわけではない事が示唆されている。「見ることができることは知っていたが, 見なかった」の背景としては, 大別すると「見る必要性を感じなかったので, 見なかった」と, 「見たかったが, ネット利用が困難だったなどの理由で見られなかった」の二つが考えられるが, 今回の調査ではこれらの分離はできなかった。

インターネットに限定せず, 「避難をするかどうかを決める際に, お住まいの地域の現在の雨量や, 近くの川の水位に関する情報を入手し, 参考にしましたか」と尋ねた結果が図 22 である。

「59.9%の回答者が「情報を入手し, 参考にした」としており, インターネット系の伝達手段以外の方法で雨量・水位情報を入手した回答者が多いことが分かる。

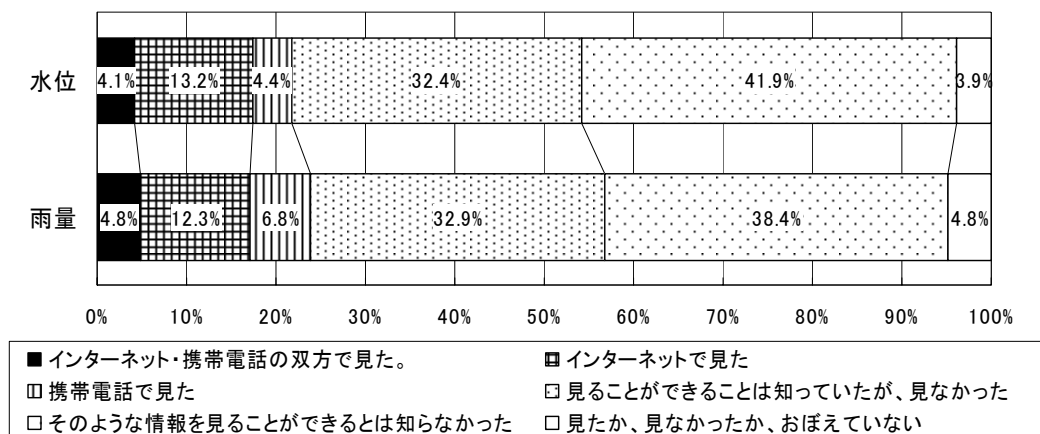


図 21 災害時のリアルタイム雨量・水位情報の利用状況(グラフ中の数値は回答数)

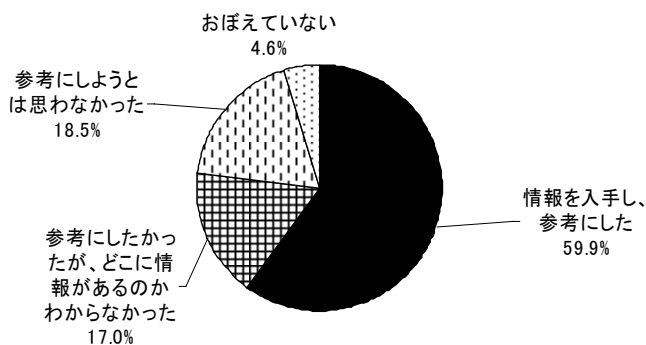


図 22 災害時の雨量・水位情報の入手

4.8. リアルタイム雨量・水位情報の利用意向

「今後、大雨による災害が起こりそうな場合に、上の設問で触れた、現在の雨量や水位に関する情報を、インターネットや携帯電話から見ると思いませんか」と尋ねた結果が図 23 である。「確実に見ると思う」という強い参照意向は 21.3%であり、必ずしも高くない。「見る可能性はあると思う」という弱い利用意向を合わせても 55.4%である。リアルタイム雨量・水位情報を整備し、周知したとしても、それを災害時に参照し、避難行動の参考にする人は必ずしも多数にはならない可能性があることが示唆された。

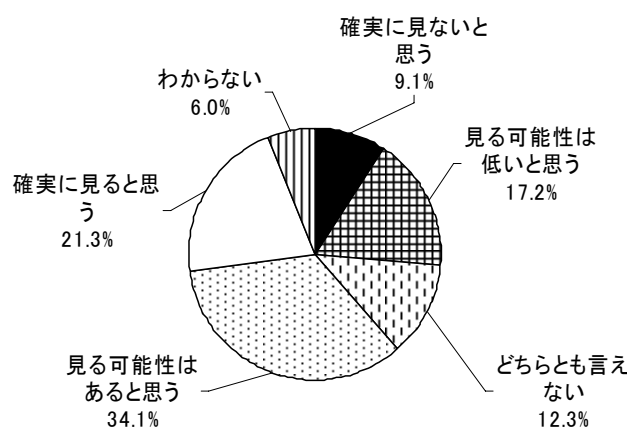


図 23 今後の災害時におけるリアルタイム雨量・水位情報の利用意向

4.9. 避難勧告に対する認識

今回の避難勧告が出されたタイミングについての意見を尋ねた結果が図 24 である。「遅すぎた」は 13.0%であり、いわゆる「避難勧告の遅れ」は、今回の災害に関しては、比較的限定的であったようである。ただし、この質問に関しては、4市町の間で結果が分かれている。葛巻町と佐呂間町では、「適切だった」がそれぞれ 69.6%、71.6%と、肯定的な回答が多数派である。別海町では「適切だった」が 53.6%、「遅すぎた」が 30.9%と、「遅すぎた」がやや多くなっている（「早すぎた」は 0%）。北見市は「適切だった」が 47.3%、「早すぎた」が 18.2%であった。

今後の避難勧告や避難行動についての意見として、「災害時には、たとえ空振りとなってもよいので、避難勧告や避難指示を早めに出すべきだと思いますか」、「災害時には、行政からの避難勧告を待たず、住民が自らの判断で早めに避難を開始すべきだと思いますか」と尋ねた結果が図 25、図 26 である。避難勧告については、空振りを懸念される場合が少なくないが、この結果で見ると、空振りでもよいから早めに避難勧告を出すことを支持する意見が多数派であると思われる。避難勧告前でも自主的に避難すべき、という考えに対してはやや支持する意見が少なくなるが、否定的な意見は 16.1%でそれほど多くはない。

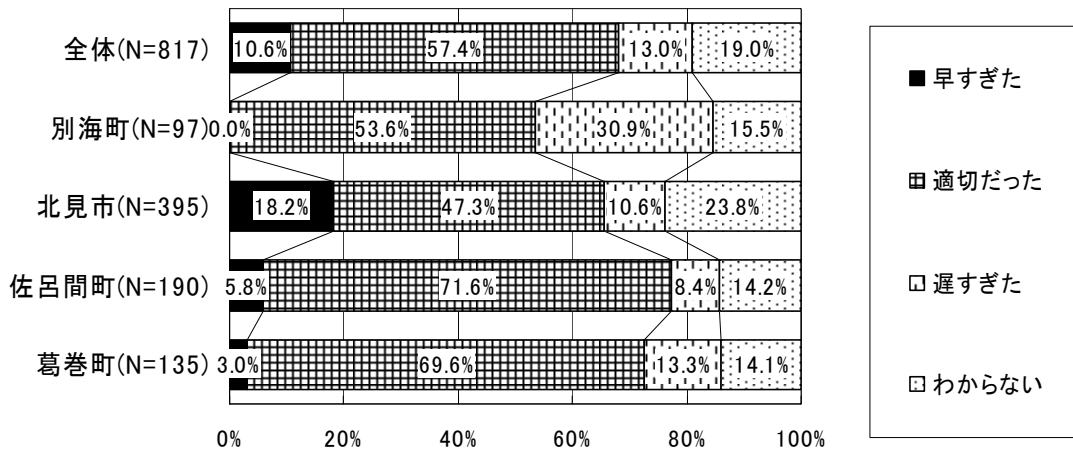


図 24 今回の避難勧告が出されたタイミングについての意見

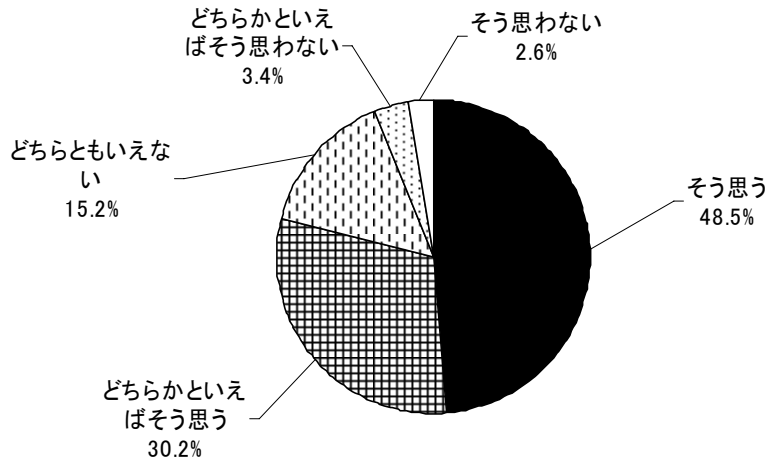


図 25 空振りとなってもよいので避難勧告を早めに出すべきか

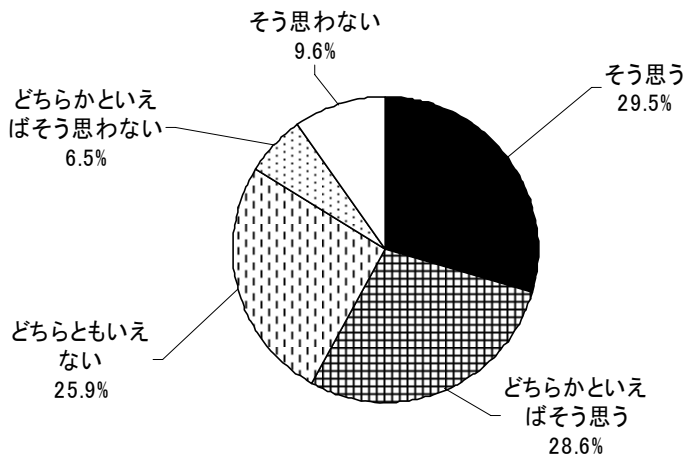


図 26 行政からの避難勧告を待たず自主的に早めに避難するべきか

4.10. 避難の状況

今回の災害に際して、何らかの避難を行ったかどうかについて尋ねた結果が図 27 である。「避難」という言葉の定義は、「ここで『避難』とは、自宅から他の場所へ移動することを指し、自宅の2階などに移動した場合は『避難していない』とします。」と説明している。調査対象世帯のほぼ過半数(55.1%, 536名)では何らかの避難行動を取っており、そのほとんどは、家族全体での避難が行われていたことになる。調査手法の節でも述べたように、今回の調査対象は、完全ではないが、その多くが避難勧告対象世帯であり、ここで何らかの避難行動を取った世帯の比率は、おおむね「避難勧告対象世帯中の避難率」と見なしてよいであろう。避難勧告が出されても、実際には避難があまり行われないことがしばしば指摘されているが、今回の避難率は、かなり高いものと思われる。

市町村別の避難状況が図 28 である。4 市町とも避難率は 50%を超え、避難率が高い傾向は各市町に共通している。

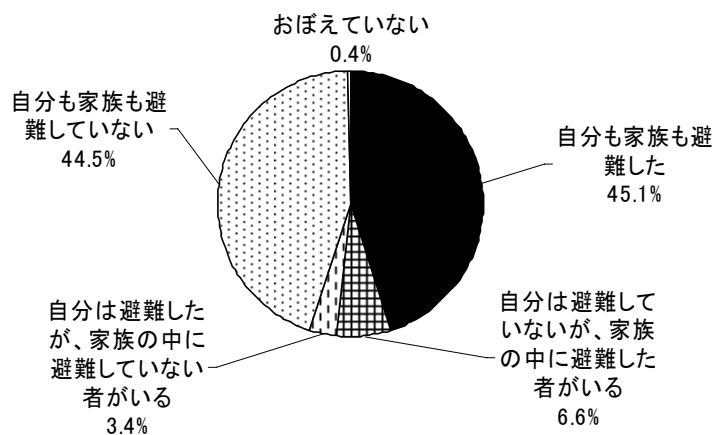


図 27 避難の状況

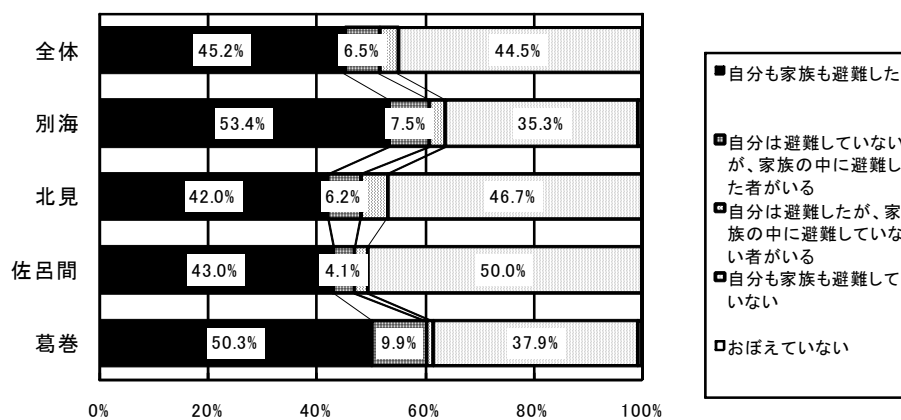


図 28 市町村別避難状況

4.11. 避難の際の移動手段

何らかの避難を行ったと回答した 536 名に対して、避難先への移動手段について「避難先へはどのように移動しましたか. あなたとご家族の移動手段が異なる場合は、先に避難した人についてお答えください」と尋ねた結果が図 29 である。「自己所有または近所の人などの車」が 80.1% に上っている。災害時の避難は、交通混雑回避などの意味から、「車を使わずに」と言われることが多いが、車での移動が完全に日常化している地方部では、避難に車を使わないことが現実には難しいことがあらためて示された。

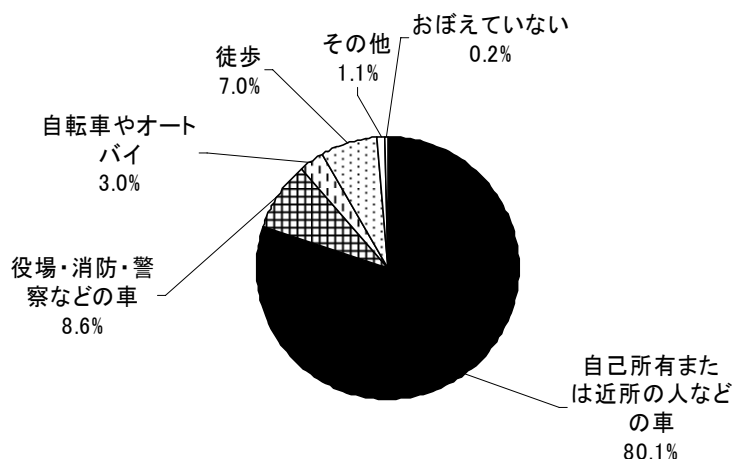


図 29 避難先への移動手段

4.12. 避難先

避難した場所について、「最終的にどのような場所に避難されましたか. あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください」と尋ねた結果が図 30 である。避難先としては、主に指定避難場所が選択されている。ただし、この調査では「役所から指定されている避難場所」の具体名は挙げておらず、「地域防災計画上の指定避難場所ではない公的施設(地区の公民館等)」が回答に含まれている可能性はある。

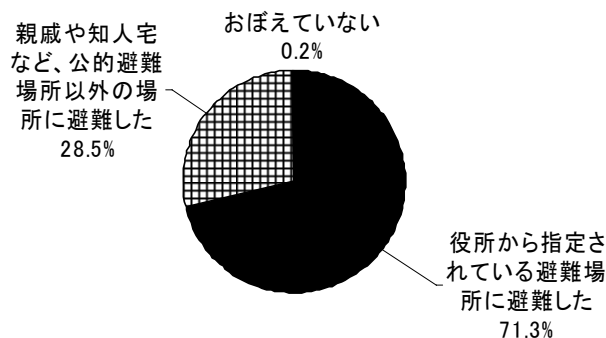


図 30 最終的な避難先

4.13. 避難のタイミング

「避難を始めたのは、次のどの時点でしたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください」と尋ねた結果が図 31 である。91.1%が「避難勧告を聞いた後」と回答しており、いわゆる「自主避難」はほとんど行われていなかったことが分かる。

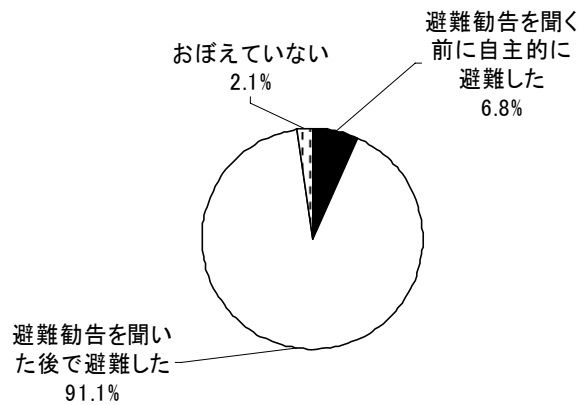


図 31 避難をはじめたタイミング

4.14. 避難実施・非実施の理由

何らかの避難を行った回答者に対して、その最大の理由を一つ選択してもらった結果(複数回答ではない)が図 32 である。理由を挙げた回答者の半数近く(47.6%)が、「避難勧告が出たから」を挙げている。また、「近所の人や消防団員に避難を勧められたから」との回答も 17.2%あり、外部からの呼びかけが避難を選択するきっかけとなった回答者が多い。

市町村別にみると、葛巻町、佐呂間町、北見市では「避難勧告が出たから」が最も多く、佐呂間町と北見市では過半数に達している。別海町では回答が分かれており、「近所の人や消防団員に避難を勧められたから」が最も多いが 29.5%であり、「自宅の周辺が浸水しはじめたから」も 25.6%と他の 3 市町より多くなっている。

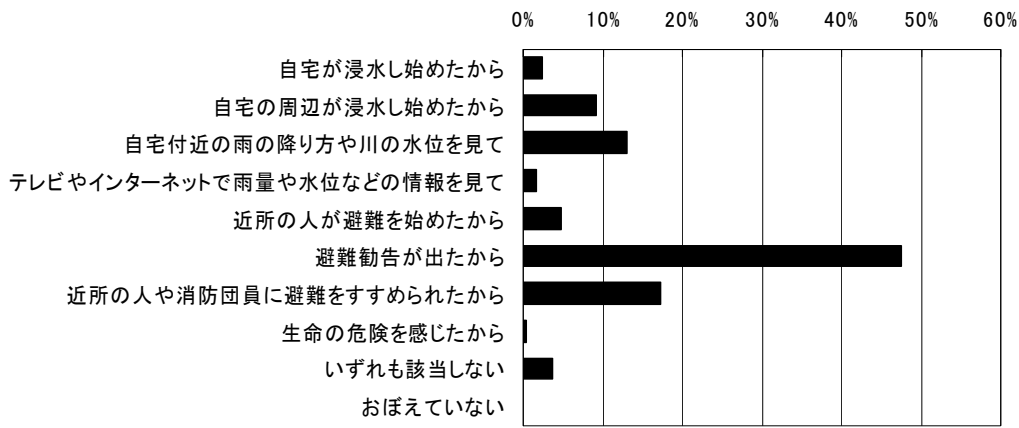


図 32 避難をはじめた最大の理由(単数回答, 値は有効回答に対する比率)

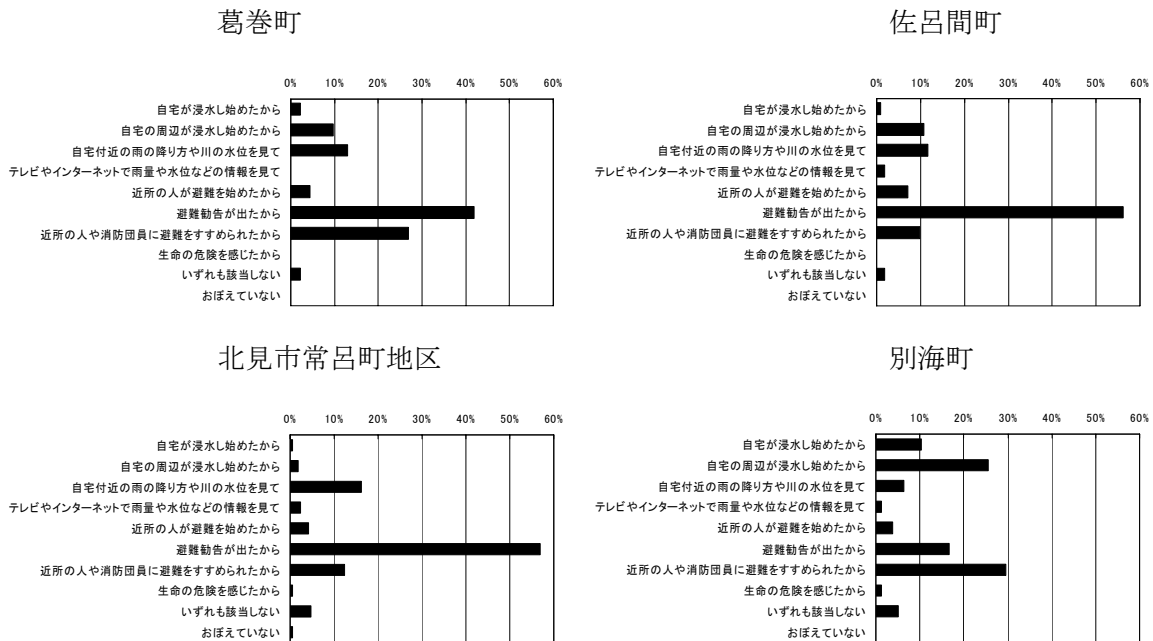


図 33 避難をはじめた最大の理由(市町村別)

避難しなかった理由は、避難した理由に比べ、やや分散しており、最も多い「自宅付近の雨の降り方や水位から安全と判断」で 32.6%である(図 34)。「いずれも該当しない」が避難した回答者に比べて多く、避難しなかった理由は、避難した理由に比べて多様であることも示唆されている。

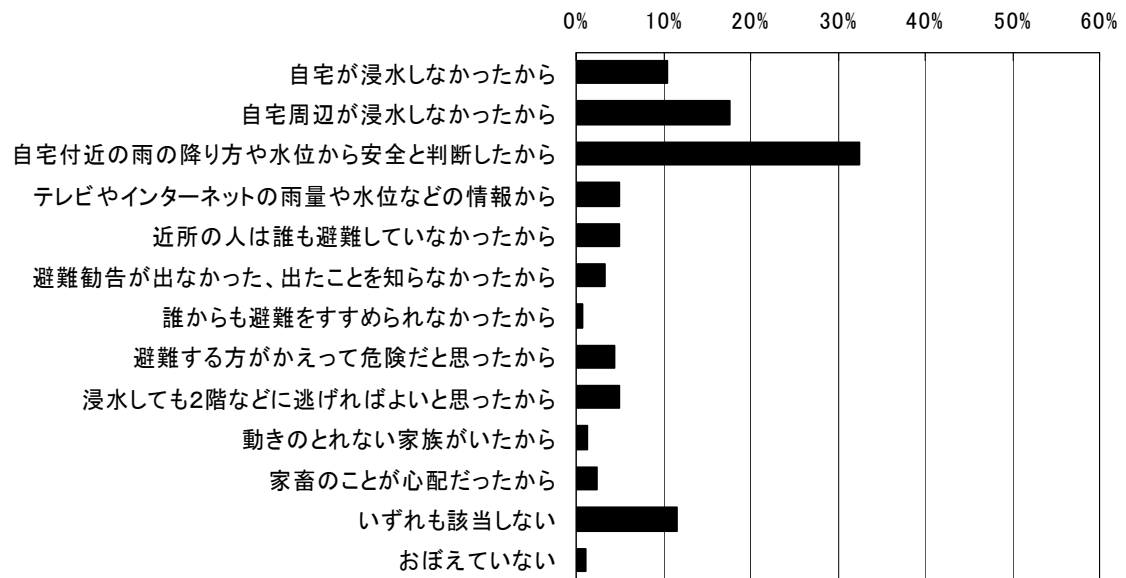


図 34 避難しなかった最大の理由(単数回答, 値は有効回答に対する比率)

表 6 調査対象地における 1940 年代以降の主な豪雨災害

起日	原因気象・被害状況
葛巻町	
1947/9/13～16	カスリーン台風により家屋に大被害 ¹⁾
1993/7/26	台風 4 号および前線による豪雨。床上浸水 4 戸，床下浸水 5 戸 ²⁾
1993/7/28～29	梅雨前線による豪雨。床上浸水 4 戸，床下浸水 39 戸 ²⁾
1998/8/25～31	前線による豪雨。床上浸水 2 棟，床下浸水 2 棟 ³⁾
佐呂間町	
1941/9/6	佐呂間別川の氾濫により浸水戸数 920 戸，中佐呂間で 4m の増水 ⁴⁾
1962/8/3	前線による豪雨。床上浸水 5 棟，床下浸水 18 棟 ³⁾
1965/9/10～18	床上浸水 3 棟，床下浸水 31 棟 ³⁾
1971/10/30～11/1	発達した低気圧による豪雨。佐呂間別川流域などで床上浸水 245 棟，床下浸水 400 棟 ³⁾
1992/8/6～10	台風 10 号崩れの低気圧・前線による豪雨。床上浸水 2 棟，床下浸水 7 棟 ³⁾
1992/9/10～12	台風 17 号による豪雨で佐呂間別川など氾濫。床上浸水 52 棟，床下浸水 150 棟 ³⁾
1998/9/14～18	台風 5 号による豪雨で内水氾濫。床上浸水 2 棟，床下浸水 5 棟 ³⁾
2001/7/23～24	前線による豪雨で内水氾濫。床上浸水 1 棟，床下浸水 4 棟 ³⁾
北見市(旧常呂町のみ)	
1962/8/17	台風 9 号による被害。床上浸水 44 戸，床下浸水 8 戸 ⁵⁾
1964/8/27	台風 14 号により常呂川氾濫，福山，日吉，豊川，共立地区氾濫。死者 1 名，床上浸水 4 戸，床下浸水 13 戸 ⁵⁾
1971/10/30～11/1	発達した低気圧による豪雨。常呂川流域などで床上浸水 7 棟，床下浸水 16 棟 ³⁾
1975/5/16～20	発達した低気圧による豪雨で常呂川の無堤部浸水。床上浸水 2 棟，床下浸水 4 棟 ³⁾
1975/8/5～8/25	台風 6 号による豪雨で常呂川の無堤部浸水。床上浸水 8 棟，床下浸水 3 棟 ³⁾
1975/9/3～9/6	前線による豪雨で常呂川の無堤部浸水。床上浸水 8 棟，床下浸水 2 棟 ³⁾
1978/7/4～17	前線による豪雨で内水氾濫。床上浸水 6 棟，床下浸水 47 棟 ³⁾
1992/9/10～20	台風 17 号による豪雨で内水氾濫。床上浸水 5 棟，床下浸水 16 棟 ³⁾
別海町	
1965/1/9	低気圧による高潮で，半壊 1，一部破損 19，床上浸水 23，床下浸水 74 ⁶⁾
1972/11/21	低気圧による高潮で，床上浸水 1，床下浸水 1 ⁶⁾
1972/12/1	低気圧による高潮で，床上浸水 12，床下浸水 29 ⁶⁾
1974/11/2	低気圧による高潮で，床上浸水 1，床下浸水 3 ⁶⁾
1979/10/19～20	台風 20 号による災害。一部破損 6，床上浸水 1，床下浸水 2 ⁶⁾
1992/9/10～20	台風 17 号による豪雨で内水氾濫。床上浸水 2 棟，床下浸水 11 棟 ³⁾

1940 年代以降で，床上浸水および床下浸水が確認された事例を掲示。被害は住家の被害のみを掲示。単位(棟，戸，世帯)が不明瞭なものは数値のみ記載。高潮による災害は大雨による災害ではないが，家屋の浸水をもたらす現象であるので，表に含めた。

出典は次の通り。1) 葛巻町郷土史年表，2) 葛巻町地域防災計画，3) 国土交通省河川局 水害統計，4) 佐呂間町百年史，5) 常呂町史，6) 別海町地域防災計画。

4.15. 過去の豪雨災害に対する記憶

過去の豪雨災害の記憶として，1946～1965，1966～1988，1989～2005 の 3 つの時代について，それぞれ「お住まいの市町村では，床上浸水が発生するくらいの規模の大雨による災害がありましたか」と尋ねた結果が図 35 である。3 つの時代としたのは，戦後をおおむね 20 年間ずつに分け，それぞれの時代の記憶を尋ねようとしたものである。北見市常呂町地区は，この間に合併を経験しているが，調査票では旧常呂町内での災害についてのみ尋ねている。なお，この設問は，調査票設計時のミスにより別紙による調査となっており，無回答が他の回答に比べ非常に多くなっている(32.3%～36.3%)。

4 市町の地域防災計画や，報道記事などを元にした，調査対象地における「1940 年代以降に床上浸水が発生した災害」の一覧が表 6 である。床上浸水が発生していないので表には含めていな

いが、北見市では2006年8月18～19日に、常呂町、端野町地区を中心に床下浸水23世帯が発生している(2006/8/20 北海道新聞)。いずれの市町でも、複数の該当事例が確認されている。比較的大規模な被害事例として、たとえば床上浸水20棟以上の事例は、佐呂間町2事例、旧常呂町1事例、別海町1事例である。

最も近い時代にまとまった被害を記録しているのは佐呂間町(1992/9/10～12)である。佐呂間町の回答者では1989～2005年に災害が「あった」が6割程度となっているが、4割の回答者はこの災害を記憶していないようである。佐呂間町では1971年にも大きな被害が生じているが、1966～1988年に災害があったことを記憶している回答者は4割程度であった。

「わからない」の回答は、各市町とも1989～2005年は約2割、1966～1988年は約4割、1946～1965年では約7割程度となっており、当然のことながら、古い時代ほど多くなっている。別海町では1966～1988年の「あった」の回答が1989～2005年と比べてやや多くなっており、1960～70年代に続いた高潮による浸水被害が記憶されている可能性がある。葛巻町では1946～1965年の「あった」が1966～1988年と比べやや高くなっており、カスリーン台風による災害(具体的な被害の規模は不詳)が記憶されている可能性がある。

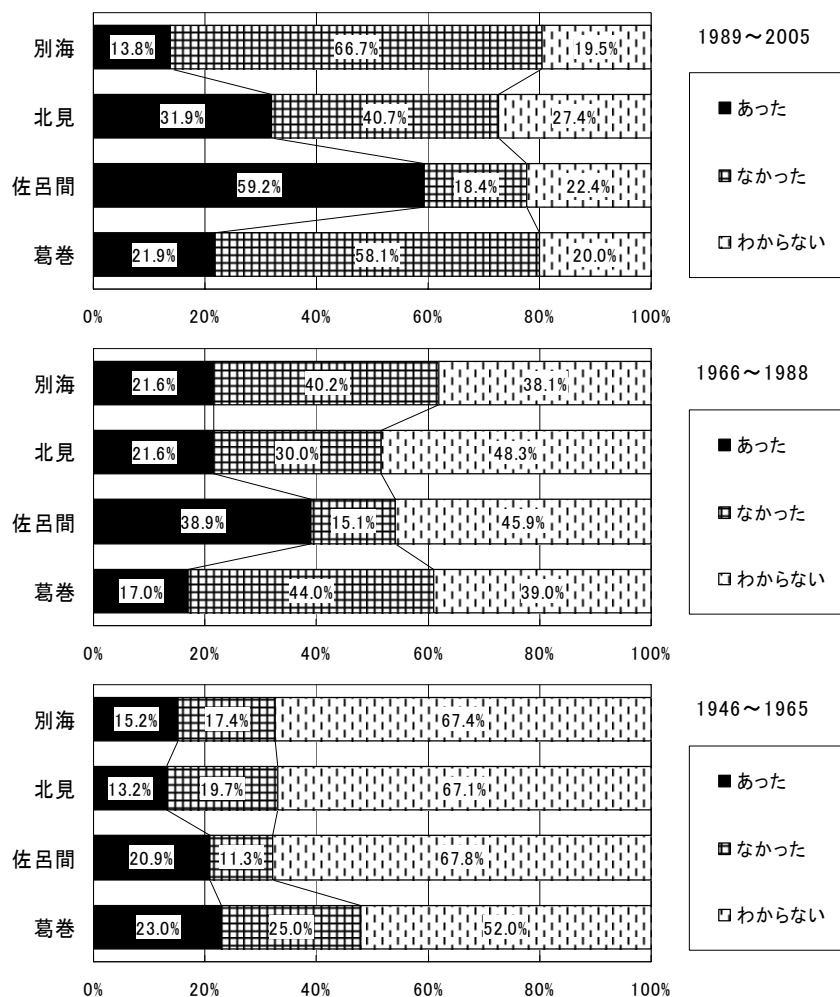


図 35 過去の豪雨災害に対する記憶

5. まとめ

- 家財保全行動の実施率(成功率)は、最も高い「自家用車の移動」でも 38.6%と、過半数に満たなかった。しかし、「行うつもりだったができなかった」(失敗率)はいずれも 10%前後で、「行うつもりはなかった」がいずれも過半数となった。
 - 情報伝達・認知の遅れなどによって対応が遅れて実施率が低かったというより、家財保全行動を必要とするような切迫した状況が、あまり発生していなかった可能性。
- 大雨・洪水警報が発表されていたことは、88.0%の回答者が認知していた。避難勧告・避難指示が出されたことは 89.2%の回答者が認知していた。
 - 避難勧告等の周知に大きな支障はなかった可能性。
- リアルタイム雨量・水位情報は 20%程度の回答者がインターネット、携帯電話のいずれかから参照していた。一方、「見ることができることは知っていたが、見なかった」の回答が雨量で 32.9%あった。今後の利用意向は、「確実に見ると思う」という強い参照意向は 21.3%であり、弱い参照意向を含めても半数程度だった。
 - 情報の存在の周知は重要だが、周知しても全員が利用するわけではない可能性を示唆。
- 調査対象世帯の 55.1%では何らかの避難行動を取っていた。避難先としては 71.3%の回答者が指定避難場所を選択し、移動手段は 80.1%が自家用車だった。
 - 比較的高い避難率。
- 避難勧告のタイミングが「遅すぎた」との回答は、北見、佐呂間、葛巻では 1 割前後、別海ではやや高く 30.9%だった。空振りとなってもよいので避難勧告等を早めに出すべきだ、との意見に対しては、78.7%が肯定的な回答を示した。
 - 避難勧告タイミングは概ね肯定的。「空振り」への抵抗は強くはない。
- 避難を開始したタイミングは、91.1%が「避難勧告を聞いた後」。避難を決めた最大の理由として「避難勧告が出たから」を挙げる回答者が最も多く(47.6%)、消防団員からの勧めなどもやや多い(17.2%)。
 - 自己判断より、他からの情報が主なきっかけ。情報として頼られている避難勧告。
- 十数年前にまとまった水害が発生した佐呂間町でも、40.2%の回答者は記憶していない。40年以上前の災害については、5～7割の回答者が「わからない」と回答。
 - 過去の災害の記憶は残りにくい。

今回の事例では、避難勧告等が比較的早く出され、その伝達にも大きな支障がなく、また、避難した人も多かった。これは、連続雨量が多かったものの、弱い雨が長時間続くという降雨形態であったため、水位上昇が比較的緩慢で、土砂災害なども起こりにくかったことなど、防災対応上恵まれた点があったことも一因かと思われる。避難勧告の発表、伝達などは、必ずしも今回のように行われるとは限らず、今回の事例を教訓に、各種情報の利活用方法などを検討していく必要がある。

参考文献

- 青森県:10月6日から8日にかけての低気圧に伴う大雨、強風における被害について(11月10日13時), http://www.bousai.pref.aomori.jp/saigai/20061006teikiatsu/higai20061110_1300.htm, 2006年12月27日参照, 2006.
- 福島県:平成18年10月6日 大雨・洪水による被害状況等 (第12報:最終報, 10月7日11時), http://www.bosai.pref.fukushima.jp/saigaig/sokuhou/20061006_0267_012.html, 2006年12月27日参照, 2006.
- 北海道:H18.10.6～ 低気圧による被害・対策状況(第28報・最終報, 11月24日17時), <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/NR/rdonlyres/B0D01228-91B5-42F1-92A5-7B3BA4CC9B1D/940787/dai28hou.pdf>, 2006年12月27日参照, 2006.
- 岩手県:波浪警報発表に伴う対応状況(10月8日11時), <http://www.pref.iwate.jp/%7Ehp010801/index/saigai10-10-1630.pdf>, 2006年12月27日参照, 2006.
- 気象庁:10月の天候, <http://www.data.kishou.go.jp/stat/tenko0610.pdf>, 2006 (2007年1月12日閲覧).
- 国立天文台:理科年表 平成18年, 丸善, 2006.
- 葛巻町:H18.10.6～8大雨洪水被災状況(平成18年10月27日現在), 葛巻町公表資料, 2006.
- 宮城県:平成18年10月6日の大雨による被害(最終報, 11月17日), http://www.pref.miyagi.jp/kikitaisaku/saigai/061006flood_21.pdf, 2006年12月27日参照, 2006.
- 盛岡地方气象台:平成18年10月6日から9日の低気圧による大雨, 暴風, 高波, <http://www.sendai-jma.go.jp/tidai/morioka/saigaidata/saigaisiryou06-03iwate.pdf>, 2007年1月8日参照, 2006.
- 内閣府大臣官房広報室:水害・土砂災害等に関する世論調査(平成17年6月調査), <http://www8.cao.go.jp/survey/h17/h17-suigai/index.html>, 2007年月17日参照, 2005.
- 札幌管区气象台:平成18年10月6日～9日発達した低気圧に関する気象速報, <http://www.sapporo-jma.go.jp/saigai/saigai.html>, 2006年11月22日参照, 2006.
- 佐呂間町史編さん委員会:佐呂間町百年史, 佐呂間町, 1995.
- 常呂町史編さん委員会:常呂町史, 常呂町, 1969.
- 山形県:10月6日の大雨による被害状況(終報 10月10日8時), <http://dww.pref.yamagata.jp/bousai/ooame200610100800.pdf>, 2006年12月27日参照, 2006.
- 牛山素行:2006年10月6日から9日の北日本での豪雨災害時に見られた行方不明者覚知の遅れ, 自然災害科学, Vol.26, No.3, (印刷中), 2007.

附属資料

- 素集計表(全体)
- 素集計表(市町村別)
- 調査依頼状および調査票

素集計表(全体)

Q1 今回の災害で、ご自宅に浸水の被害はありましたか

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	床上まで浸水した	15	1.4%	1.4%
2	床下に浸水した	109	10.1%	10.3%
3	床上・床下の区別はわからないが浸水した	19	1.8%	1.8%
4	自宅は浸水しなかった	908	83.8%	85.8%
5	おぼえていない	7	0.6%	0.7%
有効回答数合計		1058	97.6%	100.0%
無回答		26	2.4%	
全体		1084	100.0%	

Q2 今回の災害よりも前の時点で、ご自宅は大雨による浸水・洪水に対して安全だと思っていたか、危険だと思っていたか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	安全	266	24.5%	24.7%
2	ある程度安全	383	35.3%	35.5%
3	安全とも危険とも言えない	147	13.6%	13.6%
4	ある程度危険	186	17.2%	17.3%
5	危険	81	7.5%	7.5%
6	わからない	15	1.4%	1.4%
有効回答数合計		1078	99.4%	100.0%
無回答		6	0.6%	
全体		1084	100.0%	

Q3 今回の災害の期間中(おもに10月7日～8日)に、あなたはどこにいましたか。主にいた場所について、以下から最も近いものを選んでください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	自宅または自宅付近	798	73.6%	74.4%
2	すんでいる市町村、または近隣の市町村の範囲内	230	21.2%	21.4%
3	上記。1, 2以外の場所	42	3.9%	3.9%
4	おぼえていない	3	0.3%	0.3%
有効回答数合計		1073	99.0%	100.0%
無回答		11	1.0%	
全体		1084	100.0%	

Q4 今回の災害の期間中に、浸水や土砂崩れなどにより、生命に危険が及ぶかも知れないと感じた事がありましたか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	262	24.2%	27.0%
2	なかった	692	63.8%	71.4%
3	おぼえていない	15	1.4%	1.5%
有効回答数合計		969	89.4%	100.0%
無回答		70	6.5%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		115	10.6%	
全体		1084	100.0%	

今回の災害で、被害を防ぐためになにかをしましたか。以下の中で当てはまるものがあれば、記入してください。

Q5 貯金通帳など重要書類をまとめて持ち出し

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	行った	297	27.4%	31.7%
2	行うつもりだったができなかった	110	10.1%	11.7%
3	行うつもりは無かった	530	48.9%	56.6%
有効回答数合計		937	86.4%	100.0%
無回答		102	9.4%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		147	13.6%	
全体		1084	100.0%	

Q6 テレビ、パソコンなど家電製品の移動

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	行った	64	5.9%	6.9%
2	行うつもりができなかった	107	9.9%	11.5%
3	行うつもりは無かった	760	70.1%	81.6%
有効回答数合計		931	85.9%	100.0%
無回答		108	10.0%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		153	14.1%	
全体		1084	100.0%	

Q7 布団や衣類などの移動

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	行った	86	7.9%	9.2%
2	行うつもりだったができなかった	108	10.0%	11.6%
3	行うつもりは無かった	736	67.9%	79.1%
有効回答数合計		930	85.8%	100.0%
無回答		109	10.1%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		154	14.2%	
全体		1084	100.0%	

Q8 畳を上げたり、移動したりした

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	行った	15	1.4%	1.6%
2	行うつもりだったができなかった	75	6.9%	8.1%
3	行うつもりは無かった	839	77.4%	90.3%
有効回答数合計		929	85.7%	100.0%
無回答		110	10.1%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		155	14.3%	
全体		1084	100.0%	

Q9 自家用車の移動

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	行った	349	32.2%	38.6%
2	行うつもりだったができなかった	67	6.2%	7.4%
3	行うつもりは無かった	489	45.1%	54.0%
有効回答数合計		905	83.5%	100.0%
無回答		134	12.4%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		179	16.5%	
全体		1084	100.0%	

Q10 今回の災害で、ご自宅がある地区には「大雨・洪水警報」が出されましたか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	大雨・洪水警報が出された。	843	77.8%	88.0%
2	大雨・洪水警報は出されていない	33	3.0%	3.4%
3	出されたが、出されていないかわからない。	82	7.6%	8.6%
有効回答数合計		958	88.4%	100.0%
無回答		81	7.5%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		126	11.6%	
全体		1084	100.0%	

Q11 お住まいの地区に「大雨・洪水警報」が出されたことを、一番はじめに知ったのはどこからでしたか。1つ選んでください。警報が出されていない、またはわからない場合は、無記入としていただいて結構です。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	テレビ	422	38.9%	43.5%
2	ラジオ	28	2.6%	2.9%
3	近所の人から聞いた	53	4.9%	5.5%
4	町内会役員から聞いた	70	6.5%	7.2%
5	消防団員・警察官などから聞いた	120	11.1%	12.4%
6	役場職員から聞いた（電話を含む）	61	5.6%	6.3%
7	自宅にある防災無線の受信機から聞いた	23	2.1%	2.4%
8	屋外にある防災無線のスピーカーから聞いた	11	1.0%	1.1%
9	広報車の放送で聞いた	143	13.2%	14.7%
10	インターネットのホームページで見た	6	0.6%	0.6%
11	役所や気象情報会社などからのメール	4	0.4%	0.4%
12	おぼえていない	10	0.9%	1.0%
13	その他	20	1.8%	2.1%
有効回答数合計		971	89.6%	100.0%
無回答		68	6.3%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		113	10.4%	
全体		1084	100.0%	

Q12 全国各地の現在の雨量(〇〇時現在××観測所で〇〇ミリ, などの情報)をインターネットや, 携帯電話で見ることができますが, 今回の災害時にこれらの情報を見ましたか

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	インターネット・携帯電話の双方で見た。	44	4.1%	4.8%
2	インターネットで見た	112	10.3%	12.3%
3	携帯電話で見た	62	5.7%	6.8%
4	見ることができることは知っていたが、見なかった	300	27.7%	32.9%
5	そのような情報を見ることができるとは知らなかった	350	32.3%	38.4%
6	見たか、見なかったか、おぼえていない	44	4.1%	4.8%
有効回答数合計		912	84.1%	100.0%
無回答		127	11.7%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		172	15.9%	
全体		1084	100.0%	

Q13 全国各地の現在の河川水位(〇〇時現在××観測所で〇〇メートル, 警戒水位を超過, などの情報)をインターネットや, 携帯電話で見ることができますが, 今回の災害時にこれらの情報を見ましたか

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	インターネット・携帯電話の双方で見た	37	3.4%	4.1%
2	インターネットで見た	119	11.0%	13.2%
3	携帯電話で見た	40	3.7%	4.4%
4	見ることができることは知っていたが、見なかった	291	26.8%	32.4%
5	そのような情報を見ることができるとは知らなかった	377	34.8%	41.9%
6	見たか、見なかったか、おぼえていない	35	3.2%	3.9%
有効回答数合計		899	82.9%	100.0%
無回答		140	12.9%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		185	17.1%	
全体		1084	100.0%	

Q14 今回の災害で, 避難をするかどうか決める際に, お住まいの地域の現在の雨量や, 近くの川の水位に関する情報を入手し, 参考にしましたか. 情報の入手先はテレビ, インターネット, 防災無線など全てを含みます.

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	情報を入手し, 参考にした	562	51.8%	60.0%
2	参考にしなかったが, どこに情報があるのかわからなかった	159	14.7%	17.0%
3	参考にしようとは思わなかった	173	16.0%	18.5%
4	おぼえていない	43	4.0%	4.6%
有効回答数合計		937	86.4%	100.0%
無回答		102	9.4%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		147	13.6%	
全体		1084	100.0%	

Q15 今後、大雨による災害が起これるような場合に、上の設問で触れた、現在の雨量や水位に関する情報を、インターネットや携帯電話から見ると思いませんか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	確実に見ないと思う	82	7.6%	9.1%
2	見る可能性は低いと思う	156	14.4%	17.2%
3	どちらとも言えない	111	10.2%	12.3%
4	見る可能性はあると思う	309	28.5%	34.1%
5	確実に見ると思う	193	17.8%	21.3%
6	わからない	54	5.0%	6.0%
有効回答数合計		905	83.5%	100.0%
無回答		134	12.4%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		179	16.5%	
全体		1084	100.0%	

Q16 今回の災害で、ご自宅がある地区には避難勧告などが出されましたか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	避難勧告または避難指示が出された	836	77.1%	89.2%
2	避難勧告も避難指示も出されていない	68	6.3%	7.3%
3	出されたか、出されていないかわからない	27	2.5%	2.9%
4	おぼえていない	6	0.6%	0.6%
有効回答数合計		937	86.4%	100.0%
無回答		102	9.4%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		147	13.6%	
全体		1084	100.0%	

Q17 お住まいの地区に避難勧告や避難指示が出されたことを、一番はじめに知ったのはどこからでしたか。1つ選んでください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	テレビ	94	8.7%	11.4%
2	ラジオ	13	1.2%	1.6%
3	近所の人から聞いた	70	6.5%	8.5%
4	町内会役員から聞いた	108	10.0%	13.1%
5	消防団員・警察官などから聞いた	150	13.8%	18.2%
6	役場職員から聞いた(電話を含む)	104	9.6%	12.6%
7	自宅にある防災無線の受信機から聞いた	24	2.2%	2.9%
8	屋外にある防災無線のスピーカーから聞いた	11	1.0%	1.3%
9	広報車の放送で聞いた	225	20.8%	27.3%
10	インターネットのホームページで見た	3	0.3%	0.4%
11	近所や気象情報会社などからのメール	2	0.2%	0.2%
12	おぼえていない	1	0.1%	0.1%
13	その他	19	1.8%	2.3%
有効回答数合計		824	76.0%	100.0%
無回答		12	1.1%	
非該当		248	22.9%	
欠損値合計		260	24.0%	
全体		1084	100.0%	

Q18 お住まいの地区に避難勧告や避難指示が出されたタイミングについてはどのようにお考えですか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	早すぎた	88	8.1%	10.7%
2	適切だった	470	43.4%	57.4%
3	遅すぎた	106	9.8%	12.9%
4	わからない	155	14.3%	18.9%
有効回答数合計		819	75.6%	100.0%
無回答		17	1.6%	
非該当		248	22.9%	
欠損値合計		265	24.4%	
全体		1084	100.0%	

Q19 災害時には、たとえ空振りとなってもよいので、避難勧告や避難指示を早めに出すべきだと思いますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	そう思う	484	44.6%	48.5%
2	どちらかといえばそう思う	301	27.8%	30.2%
3	どちらともいえない	152	14.0%	15.2%
4	どちらかといえばそう思わない	34	3.1%	3.4%
5	そう思わない	26	2.4%	2.6%
有効回答数合計		997	92.0%	100.0%
無回答		42	3.9%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		87	8.0%	
全体		1084	100.0%	

Q20 災害時には、行政からの避難勧告を待たず、住民が自らの判断で早めに避難を開始すべきだと思いますか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	そう思う	292	26.9%	29.5%
2	どちらかといえばそう思う	283	26.1%	28.6%
3	どちらともいえない	257	23.7%	25.9%
4	どちらかといえばそう思わない	64	5.9%	6.5%
5	そう思わない	95	8.8%	9.6%
有効回答数合計		991	91.4%	100.0%
無回答		48	4.4%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		93	8.6%	
全体		1084	100.0%	

Q21 今回の災害で、あなた、またはご家族は、避難しましたか。ここで「避難」とは自宅から他の場所へ移動することを指し、自宅の2階などに移動した場合は「避難していない」とします。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	自分も家族も避難した	439	40.5%	45.1%
2	自分は避難していないが、家族の中に避難した者がいる	64	5.9%	6.6%
3	自分は避難したが、家族の中に避難していない者がいる	33	3.0%	3.4%
4	自分も家族も避難していない	433	39.9%	44.5%
5	おぼえていない	4	0.4%	0.4%
有効回答数合計		973	89.8%	100.0%
無回答		66	6.1%	
非該当		45	4.2%	
欠損値合計		111	10.2%	
全体		1084	100.0%	

Q22 避難先へはどのように移動しましたか。あなたとご家族の移動手段が異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	自己所有または近所の人などの車	426	39.3%	80.1%
2	役場・消防・警察などの車	46	4.2%	8.6%
3	自転車やオートバイ	16	1.5%	3.0%
4	徒歩	37	3.4%	7.0%
5	その他	6	0.6%	1.1%
6	おぼえていない	1	0.1%	0.2%
有効回答数合計		532	49.1%	100.0%
無回答		70	6.5%	
非該当		482	44.5%	
欠損値合計		552	50.9%	
全体		1084	100.0%	

Q23 最終的にどのような場所に避難されましたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	役所から指定されている避難場所に避難した	375	34.6%	71.3%
2	親戚や知人宅など、公的避難場所以外の場所に避難した	150	13.8%	28.5%
3	おぼえていない	1	0.1%	0.2%
有効回答数合計		526	48.5%	100.0%
無回答		76	7.0%	
非該当		482	44.5%	
欠損値合計		558	51.5%	
全体		1084	100.0%	

Q24 避難を始めたのは、次のどの時点でしたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	避難勧告を聞く前に自主的に避難した	36	3.3%	6.8%
2	避難勧告を聞いた後で避難した	483	44.6%	91.1%
3	おぼえていない	11	1.0%	2.1%
有効回答数合計		530	48.9%	100.0%
無回答		72	6.6%	
非該当		482	44.5%	
欠損値合計		554	51.1%	
全体		1084		

Q25 あなたまたはご家族が避難を始めた日時が分かれば書いてください。
(有効回答が少ないため、省略)

Q26 避難をはじめた決め手となった理由はなんですか。もっとも近いものを1つ選んでください。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	自宅が浸水し始めたから	12	1.1%	2.4%
2	自宅の周辺が浸水し始めたから	45	4.2%	9.1%
3	自宅付近の雨の降り方や川の水位を見て	64	5.9%	13.0%
4	テレビやインターネットで雨量や水位などの情報を見て	8	0.7%	1.6%
5	近所の人や消防団員に避難を勧められたから	24	2.2%	4.9%
6	避難勧告が出たから	235	21.7%	47.6%
7	近所の人や消防団員に避難をすすめられたから	85	7.8%	17.2%
8	生命の危険を感じたから	2	0.2%	0.4%
9	いずれも該当しない	18	1.7%	3.6%
10	おぼえていない	1	0.1%	0.2%
有効回答数合計		494	45.6%	100.0%
無回答		108	10.0%	
非該当		482	44.5%	
欠損値合計		590	54.4%	
全体		1084	100.0%	

Q27 避難しなかった方にお尋ねします。避難しなかった最も主な理由(1つ)は何ですか。

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	自宅が浸水しなかったから	41	3.8%	10.5%
2	自宅周辺が浸水しなかったから	69	6.4%	17.7%
3	自宅付近の雨の降り方や水位から安全と判断したから	127	11.7%	32.6%
4	テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から判断した	19	1.8%	4.9%
5	近所の人や消防団員は誰も避難していなかったから	19	1.8%	4.9%
6	避難勧告が出なかった、あるいは出たことを知らなかったから	13	1.2%	3.3%
7	誰からも避難をすすめられなかったから「	3	0.3%	0.8%
8	避難する方がかえって危険だと思ったから	17	1.6%	4.4%
9	浸水しても2階などに逃げればよいと思ったから	19	1.8%	4.9%
10	動きのとれない家族がいたから	5	0.5%	1.3%
11	家畜のことが心配だったから	9	0.8%	2.3%
12	いずれも該当しない	45	4.2%	11.5%
13	おぼえていない	4	0.4%	1.0%
有効回答数合計		390	36.0%	100.0%
無回答		47	4.3%	
非該当		647	59.7%	
合計		694	64.0%	
全体		1084	100.0%	

Q29 性別

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	男性	640	59.0%	60.8%
2	女性	413	38.1%	39.2%
	有効回答数合計	1053	97.1%	100.0%
	無回答	31	2.9%	
	全体	1084	100.0%	

Q30 年齢

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	20～29歳	53	4.9%	5.0%
2	30～39歳	135	12.5%	12.8%
3	40～49歳	181	16.7%	17.2%
4	50～59歳	294	27.1%	27.9%
5	60～70歳	223	20.6%	21.2%
6	70歳以上	168	15.5%	15.9%
	有効回答数合計	1054	97.2%	100.0%
	無回答	30	2.8%	
	全体	1084	100.0%	

Q31 現在の場所にお住まいになっておよそ何年になりますか

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	4年以下	118	10.9%	11.2%
2	5～10年	117	10.8%	11.2%
3	11～20年	159	14.7%	15.2%
4	21～30年	194	17.9%	18.5%
5	31年以上	461	42.5%	43.9%
	有効回答数合計	1049	96.8%	100.0%
	無回答	35	3.2%	
	全体	1084	100.0%	

今回の災害よりも前に、お住まいの市町村では、床上浸水が発生するくらいの規模の、大雨による災害がありましたか。次の3つの期間について、該当する数字に○をつけてください。

Q51 平成元年(1989年)頃から平成17年(2005年)頃まで

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	264	24.4%	36.0%
2	なかった	294	27.1%	40.1%
3	わからない	176	16.2%	24.0%
有効回答数合計		734	67.7%	100.0%
無回答		350	32.3%	
全体		1084	100.0%	

Q52 昭和41年(1966年)頃から昭和63年(1988年)頃まで

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	184	17.0%	25.7%
2	なかった	211	19.5%	29.4%
3	わからない	322	29.7%	44.9%
有効回答数合計		717	66.1%	100.0%
無回答		367	33.9%	
全体		1084	100.0%	

Q53 昭和21年(1945年)頃から昭和40年(1965年)頃まで

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	あった	117	10.8%	17.0%
2	なかった	124	11.4%	18.0%
3	わからない	449	41.4%	65.1%
有効回答数合計		690	63.7%	100.0%
無回答		394	36.3%	
全体		1084	100.0%	

市町村

No	選択肢	回答数	比率(全体, %)	比率(有効, %)
1	A:葛巻	173	16.0%	16.0%
2	B:佐呂間	274	25.3%	25.3%
3	C:北見	488	45.0%	45.1%
4	D:別海	146	13.5%	13.5%
有効回答数合計		1081	99.7%	100.0%
無回答		3	0.3%	
全体		1084	100.0%	

素集計表(市町村)

Q1 今回の災害で、ご自宅に浸水の被害はありましたか

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	床上まで浸水した	2	2	3	7	14
		1.2%	0.7%	0.6%	4.8%	1.3%
2	床下に浸水した	20	54	6	29	109
		11.7%	20.1%	1.3%	20.0%	10.3%
3	床上・床下の区別はわからないが浸水した	6	7	2	4	19
		3.5%	2.6%	0.4%	2.8%	1.8%
4	自宅は浸水しなかった	143	204	456	104	907
		83.6%	76.1%	96.6%	71.7%	85.9%
5	おぼえていない		1	5	1	7
			0.4%	1.1%	0.7%	0.7%
全体		171	268	472	145	1056
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q2 今回の災害よりも前の時点で、ご自宅は大雨による浸水・洪水に対して安全だと思っていたか、危険だと思っていたか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	安全	45	66	125	29	265
		26.0%	24.3%	25.8%	19.9%	24.6%
2	ある程度安全	56	104	161	61	382
		32.4%	38.2%	33.2%	41.8%	35.5%
3	安全とも危険とも言えない	18	38	75	16	147
		10.4%	14.0%	15.5%	11.0%	13.7%
4	ある程度危険	32	42	88	24	186
		18.5%	15.4%	18.1%	16.4%	17.3%
5	危険	20	17	29	15	81
		11.6%	6.3%	6.0%	10.3%	7.5%
6	わからない	2	5	7	1	15
		1.2%	1.8%	1.4%	0.7%	1.4%
全体		173	272	485	146	1076
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q3 今回の災害の期間中(おもに10月7日~8日)に、あなたはどこにいましたか。主にいた場所について、以下から最も近いものを選んでください。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	自宅または自宅付近	134	194	351	118	797
		77.9%	72.7%	72.2%	80.8%	74.4%
2	すんでいる市町村、または近隣の市町村の範囲内	35	57	114	23	229
		20.3%	21.3%	23.5%	15.8%	21.4%
3	上記。1, 2以外の場所	3	15	19	5	42
		1.7%	5.6%	3.9%	3.4%	3.9%
4	おぼえていない		1	2		3
			0.4%	0.4%		0.3%
全体		172	267	486	146	1071
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q4 今回の災害の期間中に、浸水や土砂崩れなどにより、生命に危険が及ぶかも知れないと感じた事がありましたか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	あった	63	63	93	43	262
		39.1%	26.7%	21.3%	32.3%	27.1%
2	なかった	94	170	336	90	690
		58.4%	72.0%	76.9%	67.7%	71.4%
3	おぼえていない	4	3	8		15
		2.5%	1.3%	1.8%		1.6%
全体		161	236	437	133	967
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

今回の災害で、被害を防ぐためになにかをしましたか。以下の中で当てはまるものがあれば、記入してください。

Q5 貯金通帳など重要書類をまとめて持ち出し

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	行った	39	56	150	52	297
		26.2%	23.9%	35.6%	39.7%	31.8%
2	行うつもりだったができなかった	22	26	43	19	110
		14.8%	11.1%	10.2%	14.5%	11.8%
3	行うつもりは無かった	88	152	228	60	528
		59.1%	65.0%	54.2%	45.8%	56.5%
全体		149	234	421	131	935
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q6 テレビ、パソコンなど家電製品の移動

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	行った	12	18	28	6	64
		8.2%	7.8%	6.7%	4.6%	6.9%
2	行うつもりができなかった	20	26	35	26	107
		13.7%	11.3%	8.3%	19.8%	11.5%
3	行うつもりは無かった	114	187	358	99	758
		78.1%	81.0%	85.0%	75.6%	81.6%
全体		146	231	421	131	929
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q7 布団や衣類などの移動

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	行った	13	24	37	12	86
		8.9%	10.4%	8.8%	9.2%	9.3%
2	行うつもりだったができなかった	24	26	32	26	108
		16.4%	11.3%	7.6%	19.8%	11.6%
3	行うつもりは無かった	109	181	351	93	734
		74.7%	78.4%	83.6%	71.0%	79.1%
全体		146	231	420	131	928
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q8 畳を上げたり、移動したりした

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	行った	4	4	1	6	15
		2.7%	1.7%	0.2%	4.6%	1.6%
2	行うつもりだったができなかった	15	19	21	20	75
		10.3%	8.2%	5.0%	15.4%	8.1%
3	行うつもりは無かった	127	208	398	104	837
		87.0%	90.0%	94.8%	80.0%	90.3%
全体		146	231	420	130	927
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q9 自家用車の移動

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	行った	55	101	128	64	348
		39.9%	43.9%	31.8%	48.1%	38.5%
2	行うつもりだったができなかった	10	12	24	21	67
		7.2%	5.2%	6.0%	15.8%	7.4%
3	行うつもりは無かった	73	117	250	48	488
		52.9%	50.9%	62.2%	36.1%	54.0%
全体		138	230	402	133	903
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q10 今回の災害で、ご自宅がある地区には「大雨・洪水警報」が出されましたか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	大雨・洪水警報が出された。	121	208	401	111	841
		78.6%	87.8%	92.6%	84.1%	88.0%
2	大雨・洪水警報は出されていない	5	9	13	6	33
		3.2%	3.8%	3.0%	4.5%	3.5%
3	出されたが、出されていないかわからない。	28	20	19	15	82
		18.2%	8.4%	4.4%	11.4%	8.6%
全体		154	237	433	132	956
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q11 お住まいの地区に「大雨・洪水警報」が出されたことを、一番はじめに知ったのはどこからでしたか。1つ選んでください。警報が出されていない、またはわからない場合は、無記入としていただいで結構です。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	テレビ	46	106	194	74	420
		30.5%	43.4%	43.4%	58.3%	43.3%
2	ラジオ	3	6	19		28
		2.0%	2.5%	4.3%		2.9%
3	近所の人から聞いた	18	14	14	7	53
		11.9%	5.7%	3.1%	5.5%	5.5%
4	町内会役員から聞いた	9	8	53		70
		6.0%	3.3%	11.9%		7.2%
5	消防団員・警察官などから聞いた	54	11	37	18	120
		35.8%	4.5%	8.3%	14.2%	12.4%
6	役場職員から聞いた（電話を含む）	3	33	25		61
		2.0%	13.5%	5.6%		6.3%
7	自宅にある防災無線の受信機から聞いた		1	5	17	23
			0.4%	1.1%	13.4%	2.4%
8	屋外にある防災無線のスピーカーから聞いた		2	1	8	11
			0.8%	0.2%	6.3%	1.1%
9	広報車の放送で聞いた	13	55	74	1	143
		8.6%	22.5%	16.6%	0.8%	14.8%
10	インターネットのホームページで見た			6		6
				1.3%		0.6%
11	役所や気象情報会社などからのメール			4		4
				0.9%		0.4%
12	おぼえていない	2	3	5		10
		1.3%	1.2%	1.1%		1.0%
13	その他	3	5	10	2	20
		2.0%	2.0%	2.2%	1.6%	2.1%
全体		151	244	447	127	969
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q12 全国各地の現在の雨量(〇〇時現在××観測所で〇〇ミリ、などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今回の災害時にこれらの情報を見ましたか

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	インターネット・携帯電話の双方で見た。	3	11	27	3	44
		2.1%	4.9%	6.5%	2.3%	4.8%
2	インターネットで見た	3	23	79	7	112
		2.1%	10.2%	19.0%	5.4%	12.3%
3	携帯電話で見た	5	10	31	16	62
		3.6%	4.4%	7.5%	12.4%	6.8%
4	見ることができることは知っていたが、見なかった	45	73	121	60	299
		32.1%	32.3%	29.2%	46.5%	32.9%
5	そのような情報を見ることは知らなかった	74	96	141	38	349
		52.9%	42.5%	34.0%	29.5%	38.4%
6	見たか、見なかったか、おぼえていない	10	13	16	5	44
		7.1%	5.8%	3.9%	3.9%	4.8%
全体		140	226	415	129	910
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q13 全国各地の現在の河川水位(〇〇時現在××観測所で〇〇メートル、警戒水位を超過、などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今回の災害時にこれらの情報を見ましたか

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	インターネット・携帯電話の双方で見た	3	8	23	3	37
		2.2%	3.6%	5.6%	2.3%	4.1%
2	インターネットで見た	3	19	92	5	119
		2.2%	8.6%	22.4%	3.9%	13.3%
3	携帯電話で見た	2	5	25	8	40
		1.4%	2.3%	6.1%	6.3%	4.5%
4	見ることができることはしていたが、見なかった	47	69	122	53	291
		34.1%	31.4%	29.7%	41.4%	32.4%
5	そのような情報を見ることができるとは知らなかった	74	107	140	54	375
		53.6%	48.6%	34.1%	42.2%	41.8%
6	見たか、見なかったか、おぼえていない	9	12	9	5	35
		6.5%	5.5%	2.2%	3.9%	3.9%
全体		138	220	411	128	897
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q14 今回の災害で、避難をするかどうか決める際に、お住まいの地域の現在の雨量や、近くの川の水位に関する情報を入手し、参考にしましたか。情報の入手先はテレビ、インターネット、防災無線など全てを含みます。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	情報を入手し、参考にした	64	122	295	81	562
		45.7%	52.1%	68.3%	62.8%	60.1%
2	参考にしなかったが、どこに情報があるのかわからなか	37	47	62	11	157
		26.4%	20.1%	14.4%	8.5%	16.8%
3	参考にしようとは思わなかった	31	53	57	32	173
		22.1%	22.6%	13.2%	24.8%	18.5%
4	おぼえていない	8	12	18	5	43
		5.7%	5.1%	4.2%	3.9%	4.6%
全体		140	234	432	129	935
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q15 今後、大雨による災害が起こりそうな場合に、上の設問で触れた、現在の雨量や水位に関する情報を、インターネットや携帯電話から見ると見ますか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	確実に見ないと思う	9	20	46	7	82
		6.1%	8.8%	11.4%	5.5%	9.1%
2	見る可能性は低いと思う	27	37	63	28	155
		18.4%	16.4%	15.6%	22.0%	17.2%
3	どちらとも言えない	27	32	29	23	111
		18.4%	14.2%	7.2%	18.1%	12.3%
4	見る可能性はあると思う	40	89	134	45	308
		27.2%	39.4%	33.3%	35.4%	34.1%
5	確実に見ると思う	21	39	114	19	193
		14.3%	17.3%	28.3%	15.0%	21.4%
6	わからない	23	9	17	5	54
		15.6%	4.0%	4.2%	3.9%	6.0%
全体		147	226	403	127	903
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q16 今回の災害で、ご自宅がある地区には避難勧告などが出されましたか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	避難勧告または避難指示が出された	138	195	402	99	834
		90.2%	83.3%	95.7%	77.3%	89.2%
2	避難勧告も避難指示も出されていない	8	30	13	17	68
		5.2%	12.8%	3.1%	13.3%	7.3%
3	出されたか、出されていないかわからない	6	8	5	8	27
		3.9%	3.4%	1.2%	6.3%	2.9%
4	おぼえていない	1	1		4	6
		0.7%	0.4%		3.1%	0.6%
全体		153	234	420	128	935
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q17 お住まいの地区に避難勧告や避難指示が出されたことを、一番はじめに知ったのはどこからでしたか。1つ選んでください。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	テレビ	2 1.4%	14 7.3%	66 16.7%	11 11.3%	93 11.3%
2	ラジオ		2 1.0%	10 2.5%	1 1.0%	13 1.6%
3	近所の人から聞いた	19 13.8%	10 5.2%	27 6.8%	14 14.4%	70 8.5%
4	町内会役員から聞いた	16 11.6%	12 6.3%	76 19.2%	4 4.1%	108 13.1%
5	消防団員・警察官などから聞いた	64 46.4%	13 6.8%	44 11.1%	29 29.9%	150 18.2%
6	役場職員から聞いた（電話を含む）	12 8.7%	52 27.1%	34 8.6%	5 5.2%	103 12.5%
7	自宅にある防災無線の受信機から聞いた		2 1.0%	2 0.5%	20 20.6%	24 2.9%
8	屋外にある防災無線のスピーカーから聞いた	1 0.7%	2 1.0%		8 8.2%	11 1.3%
9	広報車の放送で聞いた	22 15.9%	80 41.7%	120 30.4%	3 3.1%	225 27.4%
10	インターネットのホームページで見た			3 0.8%		3 0.4%
11	近所や気象情報会社などからのメール			2 0.5%		2 0.2%
12	おぼえていない		1 0.5%			1 0.1%
13	その他	2 1.4%	4 2.1%	11 2.8%	2 2.1%	19 2.3%
全体		138 100.0%	192 100.0%	395 100.0%	97 100.0%	822 100.0%

Q18 お住まいの地区に避難勧告や避難指示が出されたタイミングについてはどのようにお考えですか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	早すぎた	4 3.0%	11 5.8%	72 18.2%		87 10.6%
2	適切だった	94 69.6%	136 71.6%	187 47.3%	52 53.6%	469 57.4%
3	遅すぎた	18 13.3%	16 8.4%	42 10.6%	30 30.9%	106 13.0%
4	わからない	19 14.1%	27 14.2%	94 23.8%	15 15.5%	155 19.0%
全体		135 100.0%	190 100.0%	395 100.0%	97 100.0%	817 100.0%

Q19 災害時には、たとえ空振りとなってもよいので、避難勧告や避難指示を早めに出すべきだと思いますか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	そう思う	85 51.8%	137 55.7%	186 41.3%	75 55.6%	483 48.5%
2	どちらかといえばそう思う	55 33.5%	67 27.2%	139 30.9%	40 29.6%	301 30.3%
3	どちらともいえない	19 11.6%	34 13.8%	81 18.0%	17 12.6%	151 15.2%
4	どちらかといえばそう思わない	4 2.4%	6 2.4%	22 4.9%	2 1.5%	34 3.4%
5	そう思わない	1 0.6%	2 0.8%	22 4.9%	1 0.7%	26 2.6%
全体		164 100.0%	246 100.0%	450 100.0%	135 100.0%	995 100.0%

Q20 災害時には、行政からの避難勧告を待たず、住民が自らの判断で早めに避難を開始するべきだと思いますか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	そう思う	59	68	108	56	291
		36.4%	27.8%	24.2%	41.5%	29.4%
2	どちらかといえばそう思う	49	75	108	51	283
		30.2%	30.6%	24.2%	37.8%	28.6%
3	どちらともいえない	33	63	138	22	256
		20.4%	25.7%	30.9%	16.3%	25.9%
4	どちらかといえばそう思わない	8	12	39	5	64
		4.9%	4.9%	8.7%	3.7%	6.5%
5	そう思わない	13	27	54	1	95
		8.0%	11.0%	12.1%	0.7%	9.6%
全体		162	245	447	135	989
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q21 今回の災害で、あなた、またはご家族は、避難しましたか。ここで「避難」とは自宅から他の場所へ移動することを指し、自宅の2階などに移動した場合は「避難していない」とします。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	自分も家族も避難した	81	105	182	71	439
		50.3%	43.0%	42.0%	53.4%	45.2%
2	自分は避難していないが、家族の中に避難した者がいる	16	10	27	10	63
		9.9%	4.1%	6.2%	7.5%	6.5%
3	自分は避難したが、家族の中に避難していない者がいる	2	6	21	4	33
		1.2%	2.5%	4.8%	3.0%	3.4%
4	自分も家族も避難していない	61	122	202	47	432
		37.9%	50.0%	46.7%	35.3%	44.5%
5	おぼえていない	1	1	1	1	4
		0.6%	0.4%	0.2%	0.8%	0.4%
全体		161	244	433	133	971
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q22 避難先へはどのように移動しましたか。あなたとご家族の移動手段が異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	自己所有または近所の人などの車	67	95	190	74	426
		69.8%	79.8%	82.3%	87.1%	80.2%
2	役場・消防・警察などの車	19	17	6	3	45
		19.8%	14.3%	2.6%	3.5%	8.5%
3	自転車やオートバイ		3	11	2	16
			2.5%	4.8%	2.4%	3.0%
4	徒歩	10	1	21	5	37
		10.4%	0.8%	9.1%	5.9%	7.0%
5	その他		3	2	1	6
			2.5%	0.9%	1.2%	1.1%
6	おぼえていない			1		1
				0.4%		0.2%
全体		96	119	231	85	531
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q23 最終的にどのような場所に避難されましたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	役所から指定されている避難場所に避難した	67	73	171	63	374
		72.0%	62.4%	74.0%	75.0%	71.2%
2	親戚や知人宅など、公的避難場所以外の場所に避難した	26	44	59	21	150
		28.0%	37.6%	25.5%	25.0%	28.6%
3	おぼえていない			1		1
				0.4%		0.2%
全体		93	117	231	84	525
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q24 避難を始めたのは、次のどの時点でしたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	避難勧告を聞く前に自主的に避難した	3 3.1%	5 4.3%	10 4.3%	18 21.4%	36 6.8%
2	避難勧告を聞いた後で避難した	92 94.8%	109 93.2%	219 94.8%	62 73.8%	482 91.1%
3	おぼえていない	2 2.1%	3 2.6%	2 0.9%	4 4.8%	11 2.1%
全体		97 100.0%	117 100.0%	231 100.0%	84 100.0%	529 100.0%

Q25 あなたまたはご家族が避難を始めた日時が分かれば書いてください
(有効回答が少ないため、省略)

Q26 避難をはじめた決め手となった理由はなんですか。もっとも近いものを1つ選んでください。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	自宅が浸水し始めたから	2 2.2%	1 0.9%	1 0.5%	8 10.3%	12 2.4%
2	自宅の周辺が浸水し始めたから	9 9.7%	12 10.7%	4 1.9%	20 25.6%	45 9.1%
3	自宅付近の雨の降り方や川の水位を見て	12 12.9%	13 11.6%	34 16.1%	5 6.4%	64 13.0%
4	テレビやインターネットで雨量や水位などの情報を見て		2 1.8%	5 2.4%	1 1.3%	8 1.6%
5	近所の人や避難を始めたから	4 4.3%	8 7.1%	9 4.3%	3 3.8%	24 4.9%
6	避難勧告が出たから	39 41.9%	63 56.3%	120 56.9%	13 16.7%	235 47.6%
7	近所の人や消防団員に避難をすすめられたから	25 26.9%	11 9.8%	26 12.3%	23 29.5%	85 17.2%
8	生命の危険を感じたから			1 0.5%	1 1.3%	2 0.4%
9	いずれも該当しない	2 2.2%	2 1.8%	10 4.7%	4 5.1%	18 3.6%
10	おぼえていない			1 0.5%		1 0.2%
全体		93 100.0%	112 100.0%	211 100.0%	78 100.0%	494 100.0%

Q27 避難しなかった方にお尋ねします。避難しなかった最も主な理由(1つ)は何ですか。

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	自宅が浸水しなかったから	5	17	10	9	41
		10.4%	15.6%	5.2%	21.4%	10.5%
2	自宅周辺が浸水しなかったから	9	31	20	9	69
		18.8%	28.4%	10.5%	21.4%	17.7%
3	自宅付近の雨の降り方や水位から安全と判断したから	15	24	76	12	127
		31.3%	22.0%	39.8%	28.6%	32.6%
4	テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から判断	1	1	17		19
		2.1%	0.9%	8.9%		4.9%
5	近所の人は誰も避難していなかったから	4	6	9		19
		8.3%	5.5%	4.7%		4.9%
6	避難勧告が出なかった、あるいは出たことを知らなかった	1	8	1	3	13
		2.1%	7.3%	0.5%	7.1%	3.3%
7	誰からも避難をすすめられなかったから「		1	1	1	3
			0.9%	0.5%	2.4%	0.8%
8	避難する方がかえって危険だと思ったから	2	1	10	4	17
		4.2%	0.9%	5.2%	9.5%	4.4%
9	浸水しても2階などに逃げればよいと思ったから	2	8	8	1	19
		4.2%	7.3%	4.2%	2.4%	4.9%
10	動きのとれない家族がいたから		2	2	1	5
			1.8%	1.0%	2.4%	1.3%
11	家畜のことが心配だったから	2	3	4		9
		4.2%	2.8%	2.1%		2.3%
12	いずれも該当しない	4	7	32	2	45
		8.3%	6.4%	16.8%	4.8%	11.5%
13	おぼえていない	3		1		4
		6.3%		0.5%		1.0%
全体		48	109	191	42	390
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q29 性別

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	男性	103	155	294	88	640
		62.0%	59.2%	61.5%	60.3%	60.8%
2	女性	63	107	184	58	412
		38.0%	40.8%	38.5%	39.7%	39.2%
全体		166	262	478	146	1052
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q30 年齢

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	20～29歳	6	12	25	10	53
		3.6%	4.6%	5.2%	6.8%	5.0%
2	30～39歳	9	42	60	24	135
		5.4%	16.0%	12.6%	16.4%	12.8%
3	40～49歳	20	45	83	33	181
		12.0%	17.1%	17.4%	22.6%	17.2%
4	50～59歳	61	56	131	45	293
		36.7%	21.3%	27.4%	30.8%	27.8%
5	60～70歳	37	60	102	24	223
		22.3%	22.8%	21.3%	16.4%	21.2%
6	70歳以上	33	48	77	10	168
		19.9%	18.3%	16.1%	6.8%	16.0%
全体		166	263	478	146	1053
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q31 現在の場所にお住まいになっておよそ何年になりますか

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	4年以下	5 3.0%	40 15.2%	66 13.9%	7 4.8%	118 11.3%
2	5～10年	11 6.7%	37 14.0%	57 12.0%	12 8.2%	117 11.2%
3	11～20年	14 8.5%	46 17.4%	76 16.0%	23 15.8%	159 15.2%
4	21～30年	32 19.5%	58 22.0%	77 16.2%	27 18.5%	194 18.5%
5	31年以上	102 62.2%	83 31.4%	198 41.8%	77 52.7%	460 43.9%
全体		164 100.0%	264 100.0%	474 100.0%	146 100.0%	1048 100.0%

今回の災害よりも前に、お住まいの市町村では、床上浸水が発生するくらいの規模の、大雨による災害がありましたか。次の3つの期間について、該当する数字に○をつけてください。

Q51 平成元年(1989年)頃から平成17年(2005年)頃まで

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	あった	23 21.9%	119 59.2%	108 31.9%	12 13.8%	262 35.8%
2	なかった	61 58.1%	37 18.4%	138 40.7%	58 66.7%	294 40.2%
3	わからない	21 20.0%	45 22.4%	93 27.4%	17 19.5%	176 24.0%
全体		105 100.0%	201 100.0%	339 100.0%	87 100.0%	732 100.0%

Q52 昭和41年(1966年)頃から昭和63年(1988年)頃まで

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	あった	17 17.0%	72 38.9%	72 21.6%	21 21.6%	182 25.5%
2	なかった	44 44.0%	28 15.1%	100 30.0%	39 40.2%	211 29.5%
3	わからない	39 39.0%	85 45.9%	161 48.3%	37 38.1%	322 45.0%
全体		100 100.0%	185 100.0%	333 100.0%	97 100.0%	715 100.0%

Q53 昭和21年(1945年)頃から昭和40年(1965年)頃まで

No	選択肢	市町村				合計
		A:葛巻	B:佐呂間	C:北見	D:別海	
1	あった	23 23.0%	37 20.9%	42 13.2%	14 15.2%	116 16.9%
2	なかった	25 25.0%	20 11.3%	63 19.7%	16 17.4%	124 18.0%
3	わからない	52 52.0%	120 67.8%	214 67.1%	62 67.4%	448 65.1%
全体		100 100.0%	177 100.0%	319 100.0%	92 100.0%	688 100.0%

平成 18年12月

北見市・佐呂間町・別海町・葛巻町のみなさま

気象庁札幌管区气象台
北海道開発局
北海道
岩手県立大学総合政策学部牛山研究室

2006 年 10 月6日～9日の発達した低気圧による災害に関するアンケート調査
ご協力をお願い

10 月6日～9日の発達した低気圧による災害では、多くのみなさまが甚大な被害に遭われましたことに対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

私どもでは、今回の災害を重要な教訓とし、今後の気象情報や防災対策のあり方について改善を図っていきたいと考えており、そのための基礎情報として、被災地域のみなさまの体験やお考えをうかがうアンケートの実施を企画いたしました。今回の災害は、比較的気象災害の少ない地域で発生したものであり、みなさまの経験は、同様な条件を持つ北日本の各地域における今後の防災対策を考える上で、得難い情報になるものと考えております。

お忙しい日々をお過ごしと存じますが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、差し支えない範囲で結構でございますので、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご回答の方法・ご案内

1. この封筒には、(1)このご案内の紙、(2)調査票本体[全7ページ]、(3)追加調査票[1 ページ]の3種類が入っています。
2. 調査票は、ご家族のうち、調査票が到着した日から、最も誕生日が近い成人の方がお答えください。該当の方が、ご病気等で回答困難な場合は、次に誕生日が近い成人の方がご回答ください。
3. お答えいただいた調査票(調査票本体と追加調査票の2点)は、同封の封筒に入れて封をして、1月末までに、ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。
4. 本調査の結果は、学会等での発表や、調査実施機関のホームページでの公表が行われることがあります。回答者個人が特定されるような情報の公表が行われることはありません。
5. 本アンケートは、みなさまの貴重な体験を、今後の気象情報や防災対策の改善に活かすための基礎資料作りを目的としております。従いまして、行政機関に対する個別の陳情、苦情等を記入されましても、それが行政機関の施策に直接反映される事はございません。
6. 封筒付記されている符号(「A02」など)は、調査票を配布した地区を識別する目的でつけられているものです。
7. 質問・お問合せ等につきましては、下記までご連絡ください。

札幌管区气象台総務部業務課防災調整係(松井)

電話：011-611-6158 FAX：011-611-6191

e-mail：m_matsui@met.kishou.go.jp

2006年10月6日～9日の発達した低気圧による災害に関するアンケート調査

気象庁札幌管区气象台・北海道開発局・北海道・岩手県立大学牛山研究室

このアンケートは、10月6日から9日にかけて発生した大雨等による災害(以下では「今回の災害」と言います)についての調査です。11月の津波や竜巻に関する調査ではありません。

該当する回答がない、またはよくわからない場合は、何も記入しないで結構です。

回答方法について、特に案内のない設問は、に数字を1つだけ記入してください。

まず、ご自宅付近の災害についてお伺いします。

1 今回の災害で、ご自宅に浸水の被害はありましたか

1. 床上まで浸水した
2. 床下に浸水した
3. 床上・床下の区別はわからないが浸水した
4. 自宅は浸水しなかった
5. おぼえていない

2 今回の災害よりも前の時点で、ご自宅は大雨による浸水・洪水に対して安全だと思っていましたか、危険だと思っていましたか。

1. 安全
2. ある程度安全
3. 安全とも危険とも言えない
4. ある程度危険
5. 危険
6. わからない

次に、災害の時のあなた自身の対応についてお尋ねします。

3 今回の災害の期間中(おもに10月7日～8日)に、あなたはどこにいましたか。主にいた場所について、以下から最も近いものを選んでください。

1. 自宅または自宅付近
2. 住んでいる市町村、または近隣の市町村の範囲内
3. 上記1. , 2. 以外の場所
4. おぼえていない

「3, 4」の方は以降の質問を飛ばして、最後のページへ

4 今回の災害の期間中に、浸水や土砂崩れなどにより、生命に危険が及ぶかも知れないと感じた事がありましたか。

1. あった
2. なかった
3. おぼえていない

今回の災害で、被害を防ぐためになにかをしましたか。以下の中で当てはまるものがあれば、記入してください。

5 貯金通帳など重要書類をまとめて持ち出し

1. 行った
2. 行うつもりだったができなかった
3. 行うつもりは無かった

6 テレビ、パソコンなど家電製品の移動

1. 行った
2. 行うつもりだったができなかった
3. 行うつもりは無かった

7 布団や衣類などの移動

1. 行った
2. 行うつもりだったができなかった
3. 行うつもりは無かった

8 畳を上げたり、移動したりした

1. 行った
2. 行うつもりだったができなかった
3. 行うつもりは無かった

9 自家用車の移動

1. 行った
2. 行うつもりだったができなかった
3. 行うつもりは無かった

ここからは、今回の災害の時の情報についてお伺いします。

10 今回の災害で、ご自宅がある地区には「大雨・洪水警報」が出されましたか。

1. 大雨・洪水警報が出された
2. 大雨・洪水警報は出されていない
3. 出されたか、出されていないかわからない

11 お住まいの地区に「大雨・洪水警報」が出されたことを、一番はじめに知ったのはどこからでしたか。1つ選んでください。警報が出されていない、またはわからない場合は、無記入としていただいても結構です。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 近所の人から聞いた
4. 町内会役員から聞いた
5. 消防団員・警察官などから聞いた
6. 役場職員から聞いた(電話を含む)
7. 自宅にある防災無線の受信機から聞いた
8. 屋外にある防災無線のスピーカーから聞いた
9. 広報車の放送で聞いた
10. インターネットのホームページで見た
11. 役所や気象情報会社などからのメール
12. おぼえていない
13. その他

12 全国各地の現在の雨量(〇〇時現在××観測所で〇〇ミリ, などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今回の災害時にこれらの情報を見ましたか

1. インターネット・携帯電話の双方で見た
2. インターネットで見ました
3. 携帯電話で見ました
4. 見ることができることは知っていたが、見なかった
5. そのような情報を見ることができるとは知らなかった
6. 見たか、見なかったか、おぼえていない

※北見市では12カ所、佐呂間町では2カ所、別海町では2カ所、葛巻町では6カ所の雨量観測所の実況値をインターネット(「川の防災情報」など)から見ることができます。

13 全国各地の現在の河川水位(〇〇時現在××観測所で〇〇メートル, 警戒水位を超過, などの情報)をインターネットや、携帯電話で見ることができますが、今回の災害時にこれらの情報を見ましたか

1. インターネット・携帯電話の双方で見た
2. インターネットで見ました
3. 携帯電話で見ました
4. 見ることができることは知っていたが、見なかった
5. そのような情報を見ることができるとは知らなかった
6. 見たか、見なかったか、おぼえていない

※北見市では10カ所、佐呂間町2カ所、別海町2カ所、葛巻町2カ所の河川の水位観測所の実況値をインターネット(「川の防災情報」など)から見ることができます。

14 今回の災害で、避難をするかどうか決める際に、お住まいの地域の現在の雨量や、近くの川の水位に関する情報を入手し、参考にしましたか。情報の入手先はテレビ、インターネット、防災無線など全てを含みます。

1. 情報を入手し、参考にした
2. 参考にしなかったが、どこに情報があるのかわからなかった
3. 参考にしようとは思わなかった
4. おぼえていない

15 今後、大雨による災害が起こりそうな場合に、上の設問で触れた、現在の雨量や水位に関する情報を、インターネットや携帯電話から見ると思いませんか。

1. 確実に見ないと思う
2. 見る可能性は低いと思う
3. どちらとも言えない
4. 見る可能性はあると思う
5. 確実に見ると思う
6. わからない

ここからは、今回の災害の時の避難の状況についてお伺いします。

16 今回の災害で、ご自宅がある地区には避難勧告などが出されましたか。

1. 避難勧告または避難指示が出された
2. 避難勧告も避難指示も出されていない
3. 出されたか、出されていないかわからない
4. おぼえていない

避難勧告が出された地区

17 お住まいの地区に避難勧告や避難指示が出されたことを、一番はじめに知ったのはどこからでしたか。1つ選んでください。

1. テレビ
2. ラジオ
3. 近所の人から聞いた
4. 町内会役員から聞いた
5. 消防団員・警察官などから聞いた
6. 役場職員から聞いた(電話を含む)
7. 自宅にある防災無線の受信機から聞いた
8. 屋外にある防災無線のスピーカーから聞いた
9. 広報車の放送で聞いた
10. インターネットのホームページで見た
11. 役所や気象情報会社などからのメール
12. おぼえていない
13. その他

18 お住まいの地区に避難勧告や避難指示が出されたタイミングについてはどのようにお考えですか。

1. 早すぎた
2. 適切だった
3. 遅すぎた
4. わからない

次のページへ

19 災害時には、たとえ空振りとなってもよいので、避難勧告や避難指示を早めに出すべきだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

20 災害時には、行政からの避難勧告を待たず、住民が自らの判断で早めに避難を開始すべきだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

21 今回の災害で、あなた、またはご家族は、避難しましたか。ここで「避難」とは自宅から他の場所へ移動することを指し、自宅の2階などに移動した場合は「避難していない」とします。

1. 自分も家族も避難した(単身世帯で避難した場合も含みます)
2. 自分は避難していないが、家族の中に避難した者がいる
3. 自分は避難したが、家族の中に避難していない者がいる
4. 自分も家族も避難していない
5. おぼえていない

あなたご自身またはご家族が避難し

22 避難先へはどのように移動しましたか。あなたとご家族の移動手段が異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

1. 自己所有または近所の人などの車
2. 役場・消防・警察などの車
3. 自転車やオートバイ
4. 徒歩
5. その他
6. おぼえていない

23 最終的にどのような場所に避難されましたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

1. 役所から指定されている避難場所に避難した
2. 親戚や知人宅など、公的避難場所以外の場所に避難した
3. おぼえていない

24 避難を始めたのは、次のどの時点でしたか。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難した人についてお答えください。

1. 避難勧告を聞く前に自主的に避難した
2. 避難勧告を聞いた後で避難した
3. おぼえていない

避難しなかった方(上の質問で4または5の方)

25 10月 日 あなたまたはご家族が避難を始めた日時が分かれば書いてく
午前・午後 時頃 ださい

26 避難をはじめた決め手となった理由はなんですか。もっとも近いも
のを1つ選んでください。あなたとご家族で異なる場合は、先に避難
した人についてお答えください。

1. 自宅が浸水し始めたから
2. 自宅の周辺が浸水し始めたから
3. 自宅付近の雨の降り方や川の水位を見て
4. テレビやインターネットで雨量や水位などの情報を見て
5. 近所の人が避難を始めたから
6. 避難勧告が出たから
7. 近所の人や消防団員に避難をすすめられたから
8. 生命の危険を感じたから
9. いずれも該当しない
10. おぼえていない

次の質問は飛ばして、

27 避難しなかった方にお尋ねします。避難しなかった最も主な理由(1つ)は何
ですか。

1. 自宅が浸水しなかったから
2. 自宅周辺が浸水しなかったから
3. 自宅付近の雨の降り方や川の水位から安全と判断したから
4. テレビやインターネットの雨量や水位などの情報から判断した
5. 近所の人誰も避難していなかったから
6. 避難勧告が出なかった、あるいは出た事を知らなかったから
7. 誰からも避難をすすめられなかったから
8. 避難する方がかえって危険だと思ったから
9. 浸水しても2階などに逃げればよいと思ったから
10. 動きのとれない家族がいたから
11. 家畜のことが心配だったから
12. いずれも該当しない
13. おぼえていない

最後のページへ

※ここが最後のページです.

今回の災害で、何か教訓になったことなどがあればご記入ください.

28

最後に、あなたご自身についてお伺いします

29

1. 男性

2. 女性

30

1. 20～29歳

2. 30～39歳

3. 40～49歳

4. 50～59歳

5. 60～69歳

6. 70歳以上

31

現在の場所にお住まいになっておよそ何年になりますか

1. 4年以下

2. 5～10年

3. 11～20年

4. 21～30年

5. 31年以上

ご回答いただき、本当にありがとうございました。

2006年10月6日～9日の発達した低気圧による災害に関するアンケート調査
(追加調査票)

【お詫び】質問票印刷時の手違いにより、印刷されなかった質問がありました。たいへんお手数ですが、調査票本体の質問に加えて、この「追加調査票」の質問にもお答えいただき、ご返送をいただければ幸いです。

今回の災害よりも前に、お住まいの市町村では、床上浸水が発生するくらいの規模の、大雨による災害がありましたか。次の3つの期間について、該当する数字に○をつけてください。

	あった	なかった	わからない
51 平成元年(1989年)頃から平成17年(2005年)頃まで	1	2	3
52 昭和41年(1966年)頃から昭和63年(1988年)頃まで	1	2	3
53 昭和21年(1945年)頃から昭和40年(1965年)頃まで	1	2	3

※旧常呂町にお住まいの方は、常呂町内での災害についてお答え下さい

ご協力、本当にありがとうございました。

2006年10月6日～9日の発達した低気圧による災害に関するアンケート調査報告書

2007年10月8日発行

著者 気象庁札幌管区气象台・北海道開発局・北海道・岩手県立大学総合政策学
部牛山研究室

発行者 気象庁札幌管区气象台

照会先 札幌管区气象台総務部業務課防災調整係
〒060-0002 札幌市中央区北2条西18丁目2
電話：011-611-6158 FAX：011-644-9674

岩手県立大学 総合政策学部 牛山研究室（准教授 牛山素行）

〒020-0193 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152-52

電話：019-694-2722 FAX：019-694-2722

E-mail：ushiyama@disaster-i.net

URL：http://www.disaster-i.net/